英国春秋

2016年　秋号
ISSUE　No.29
発行　英国日本人会

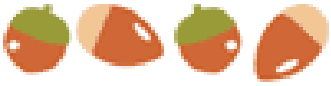
はじめに

『英国春秋』のカレンダーによりますと一年は四季ならず二季で終り、春の次はもう秋の到来と、編集に携わっていますと時の流れが速く感じられる・・・そんな思いがしてなりません。百花繚乱の春も良いのですが黄葉繚乱の秋も捨てがたく、豊穣な実りの秋は、歳のせいもあるのでしょう、気持ちがより落ち着くようです。

先日、近くの森に出かけましたら、いつも敏捷に駆け回るリスが、のろのろと木の陰に半身を隠しました。後ろ姿は、丸々と太ってまるで小ぶりのモルモットのよう。くわえられるだけの木の実を双方の頬に含んでいるのでしょう、まるでお多福風邪にかかったようで、そのユーモラスな姿につい微笑んでしまいました。イギリスの秋空のこと、“高く”とまではいきませんから、「天低く、リス肥ゆる秋」などと呟いてみましたが、森に住む小動物の“肥ゆる秋”なのでしょう。これから一雨か二雨でもあると、どんぐりの実が道一面にどっさりと落ちてきます。そしてそれらを踏みしだきながら森の小道を行くとき、靴の底に秋の重さを感じて何となく楽しくなってしまいます。童謡に「・・・靴が鳴る・・・」と言うのがありますが、これはどんぐりの実を踏んで、キュ・キュと鳴らすのを歌ったのではないかしら・・・と思ってみるのもまた一興のようです。

今号の特集は、『私の初恋』、『私のヒーロー』で、どちらも一点ずつの投稿をいただきました。
「報道優先」か「人命救助優先」かは、特に戦場などにおけるジャーナリストの宿命的なテーマなのでしょう。
初恋のやるせない想いは、先人の「・・・うす紅(くれない)の秋の実に人恋染めしはじめなり・・・」も、ポケモン探しに夢中になる現代人も、「・・・白い花が咲くとあなたのことを憶う・・・」などと、全く変わらないことを知り、少々驚くと共に安心もしました。“進化”は技術面だけで十分、人の心まで変わりだすと、とんでもない世の中になってしまいそうですね。

『英国春秋』秋号 No.29 が完成しました。今回も忙しい中投稿して下さった会員の皆様、そして特別寄稿を快くお引き受け頂いたゲスト・ライターの皆様に、心よりお礼申し上げます。
この後、次号春号に向かって準備開始、引き続き皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



特別寄稿

有地芽浬氏　（SOAS Senior Teaching Fellow）

田邊邦彦氏　（在カルガリー日本国総領事館・総領事）

春井久志氏　（中央銀行研究所　代表　）

（アイウエオ順）

＊　＊　＊　　も　　く　　じ　　＊　＊　＊

はじめに		
雪月花時最憶君	渡邊伸悟	４～　５
私のヒーロー	加藤節雄	６
英国春秋歌壇　　盆の月	バロー典子	７
仏像の魅力：観音菩薩	有地芽浬	８～１０
「英国ＥＵ離脱」問題　“Brexit or Bregret”？	春井久志	１１～１３
英国春秋俳壇	俳句同好会	１４
映画から学んだ人生	渡邊道英	１５～１６
「大人の言葉」そして「大人の言い分」	石山望	１６～１７
シェイクスピア劇の女性たち	小川のり子	１８～２０
英国春秋俳壇　　夜の椿	クーパー矩子	２１
私の結婚観	タミーガフ二ー	２２
英国春秋俳壇　　鬼百合	エリオットつや子	２３
カナダからの手紙	田邊邦彦	２４～２５
現代人と能	中条アツ子	２６
紅葉会の歩み	ダフィー栄子	２７
ポケットドリーム	渡邊伸悟	２８～２９
ふたたびの炉ばた焼き　－旨い魚の話－	ビドル恵	２９～３１
犬の十戒	タミーガフ二ー	３２
終りよければすべてよし		
－リオオリンピックボランティア体験記－	西川千春	３３～３５

『雪月花時最憶君』

渡邊伸悟

深沙大王堂を通り過ぎてしばらく往くと、懐かしい山門が見えた。小さい頃遊んでいた道路は舗装されていて、以前はなかったお店もちらほらと見える。
「そりゃ、そうか。もう８年も経つからな」
ポツリと呟き、僕は立ち止まって時計を見た。午後８時 54 分。約束の時間まで５分と少し。手紙に書かれたメッセージが僕の考えた通りなら、きっとあの木の下で君が待っているはずだ。僕は８年前のことをふいに思い出した。

転勤族だった父の影響で、中学まで過ごした東京を離れることになった。行き先はイギリス。父や母は海外駐在を出世だと喜んでいたけれど、僕はちっとも嬉しくなかった。友達と離れ離れになるし、いきなり英語だなんて言われても、ピンとこない。それに、由香里のことだって。
由香里は、幼稚園からずっと一緒のいわゆる幼馴染みだ。家族ぐるみの付き合いでどこに行くにも大抵一緒だった。卒業を待たずに渡英すると言われた時、真っ先に考えたのが彼女のことだった。そして、渡英目前のあの日、深大寺本堂の境内で２人で話した時のことを僕は今でも鮮明に憶えている。

「ねぇ、今はまだ咲いてないけど、本堂横のヒトツバダコの花って白くてまるで雪みたいだなーって思うことない？昔の人はね、すごく綺麗なものを雪と月と花に例えて『雪月花時最憶君』、つまり美しい物を見ている時に遠くにいる君を思い出します、って歌に詠んだりしたんだよ」
「そうなんだ……。イギリスでも、月は見えるだろうけど…….」

今思えば､僕はなんて馬鹿な返事をしたんだろうと思う｡だけど、夕陽が差し込む境内で少し大人びた話し方をする彼女を隣に見ながら、心の中にいつもと違った感情が芽生えてそれが僕を素直にさせなかった。由香里の笑顔が、すこし曇って戸惑い、何かを決意した表情に変わった。
「イギリスにも桜は咲くのかな。雪は降るのかな。私には分からないけど、でも、もしも雪が降ったら、月が綺麗だったら、桜を見つけたら、啓は、私の事思い出してくれる？」
心臓が弾け飛びそうな感覚だった。そして、その瞬間、僕は二つのこと知った。由香里が僕を好きだということ。そして僕も、由香里を好きだということ。

イギリスでの生活は単調に過ぎていった。海外生活と言っても、駐在員とその周辺なんてミニジャパンみたいなもので、僕も学校に通いながら、同じような境遇の日本人たちと英語の勉強に励んだ。渡英から四年が経ち、僕は大学へ進学しイギリスでの生活に完全になじんでいた。由香里のことを忘れたわけではなかった。けれどイギリスで恋人ができ、唯一連絡の手段だった手紙も途絶えがちになっていた。

大学も終わりに近づいたある日、フラットに一通の手紙が届いた。差出人も宛先も書いてなかったけれど、その手紙はなぜか僕の心をかき乱した。封を開けると、中には紙が一
枚だけ入っていた。

『雪月花時最憶君』

たった１行、そう書かれた手紙は、僕に８年前の深大寺を思い出させた。君はまだ、憶えていてくれたのか。もうずっと昔に忘れられたとばかり思っていたのに。イギリスにも桜は咲いたし、雪も降った。夏の月はとても明るくて綺麗だった。５月に君に逢いに行こう。きっと君は、そこにいる。

野良犬が吠えて、僕は我に返った。どのくらいこうしていたのだろう。時計を見ると、９時を５分過ぎたところだった。高鳴る胸を抑えるように、僕は山門をくぐり、本堂を正面に見ながらゆっくりと歩い

た。なんじゃもんじゃの木は、その枝が広がる範囲いっぱいに、雪を降らせていた。そしてその雪の下に君はいた。白いワンピースに薄水色のカーデガンを羽織り、景色に溶けそうなくらい儚く佇んで、じっと僕を見つめていた。
「5 分遅刻。相変わらずだね、啓のそういうとこ」
　最初に沈黙を破ったのは彼女だった。
「あ…、ご、ごめん。でもそれを最初に言うことないだろ、8 年ぶりの再会だぜ？」
「うん。そうだね。でも、なんだか嬉しくって。あの時と、何も変わってないみたいで」
「そうかな。変わっただろ、俺たち。少しはさ」
「そうかな。私は、啓って全然変わってないと思うよ。背が伸びたくらいじゃない？」
「うるせえな。由香里こそ…」
　と、慌てて後に続く言葉を呑みこんだ。「綺麗になった」なんて、恥ずかしくて言えやしない。
「何よ？」
「なんでもねーよ」
「ふーん。ま、いいや。でも…」
　由香里が一瞬黙った。そして、あの時の、戸惑いと決意の表情をまた見せる。
「来てくれて嬉しかった。憶えててくれたんだね」
その時微笑んだ彼女の、大人びた笑顔を彩るように風がそっと、雪の花を散らした..

英国春秋つれづれに

寄殷協律

白居易

五歳優游同過日
一朝消散似浮雲
琴詩酒伴皆拋我
雪月花時最憶君
幾度聽鷄歌白日
亦曾騎馬詠紅裙
吳娘暮雨蕭蕭曲
自別江南更不聞

私のヒーロー

加藤節雄

ある 5 月の晴れた日曜日だった。先輩のカメラマンと鎌倉の海岸へ遊びに行った。穏やかな海と陽光に輝く砂浜は、カメラマンでなくとも写真を撮りたくなるような風景だった。私は大学を卒業して英国系の通信社に就職、報道カメラマンになったばかりだった。この新米カメラマンとベテランカメラマンは浜辺に寝ころび、写真談義をしていた。

その時突然、浜辺に高波が押し寄せた。気が付けば沖の方に黒い雲が出ている。嵐の前兆だったのかもしれない。女性の悲鳴が聞こえた。見ると小さな子供が大波にさらわれて沖に流されていく。数人が波打ち際に駆けていく。私も思わず走り出した。水泳には全く自信がなかったが、そんなことを考えている暇もなく、とにかくじっとしていられないで子供の方へ走った。

遠浅の海岸だったため子供は沖に流されることもなく、波の引いた後、おぼれることもなく助かった。私は他の人と子供の無事を喜び合ったが、先輩のカメラマンは、と見ると、その場を動くこともなくカメラを構えてずっと撮影を続けていた。

私にはこのことがかなりショックだった。報道カメラマンの真の姿に触れたような気がした。私の選んだ職業は、ある意味では非情で、ある意味では事件の記録者として重要な役割を果たしているという、なんだか身の引き締まるような強烈な感覚に襲われた。

澤田教一カメラマンはベトナム戦争で爆弾から逃れるために必死に川を泳ぎ、おぼれそうになっている母子の写真を撮影した。新聞にその写真が発表されたとき、何故その親子を助けなかったのかという批判の投書があった。かなりの人がカメラマンは非情だと思ったに違いない。この写真は報道写真の最高の栄誉であるピューリッツアー賞に輝いた。授賞式で澤田氏は「写真を撮った後、この親子を助けた」と説明している。

これは報道カメラマンの永遠の命題である。例えばベトナム人の親子の写真が発表されたことにより、ベトナム戦争がいかに悲惨で残酷かということを世界中の人が知り、戦争は悲惨というメッセージを送ることが出来る。ある意味では平和運動家が戦争反対を唱えるよりもパワフルな時もある。逆に死に直面している人を助けないというのは非人道的という批判もあると思う。

鎌倉の海岸で駆け出しカメラマンはこの命題に最初にぶつかった。その意味では先輩カメラマンは私のヒーローと呼べるかもしれない。彼は技術的なことばかりでなく、報道カメラマンとしての心構えのようなもの私に教えてくれたのではないだろうかと思っている。幸いにも仕事で生死にかかわる瞬間の撮影に拘わることはほとんどなかったが、いつもこの命題は私につきまとっている。

結論が出るわけはないのだが、真実の記録と人道的行動、この相反するテーゼはジャーナリスト全体の命題であり、特にフォトジャーナリストは、時にこの命題に命を懸けることもある。

英国春秋あれこれ

「安全への逃避」（1965 年）
沢田教一（フォトジャーナリスト）

銃弾を逃れ安全地帯へと必死で
川を渡る母親と４人の子供達
(ベトナム戦争)

ピューリッツアー賞他数々の
賞を受賞

英国春秋歌壇

盆の月

バロー典子

朝霧の　晴れゆく先の　緑野に
　　羊の群の　徐々に現わる

ふと見えし　木々の繁みの　隙間より
　　沈む夕陽の　真赤き光

春の陽の　庭の池面に　射し入りて
　　はじめて見えし　鯉の稚魚あり

並木路に　光と影の　線引きて
　　木漏れ陽光る　夏は来にけり

リンゴ樹の　根元に植えし　つるバラの
　　伸びて造りし　バラの山影

埋み火の　ほの懐かしく　思い出す
　　谷川岳の　見ゆる山荘

鳥も鳴き　樹揺する　リスも塀の上
　　三輪精舎の　禅の石庭

時来れば　咲きて散りゆく　花に似て
　　友逝く報の　届くこの頃

風もなく　樹の頂上に　くるくると
　　一ひらの葉の　動いてやまず

“この地に生き　この地に眠る”との文字の下
　　ヘンドン墓地に　眠る同胞
（８０周年記念式典にて、ヘンドンの日本人墓地にて）

盆の月　いつも思うは　父母のこと
　　送り迎えの　火も焚かずして

仏像の魅力：観音菩薩

有地芽浬

仏教の輪廻転生の教えでは誰もが死後はまた六道の内の何処かに生まれ変わってくるとされていますが、悟りを開いて仏となればその永遠のサイクルから逃れることができます。菩薩は悟りをひらいて仏となる事ができるにもかかわらず、この世に残って人々が悟りに到達する助けをする、いわば自己犠牲を払って人のために働く尊い存在です。観音菩薩はその中でも特に人々が苦難の境遇にある時に、その名を呼ぶだけで救いの手を差し伸べると法華経（妙法蓮華経）に説かれており、日本のみならず仏教発祥の地インド、ヒマラヤと東南アジアの諸国でもサンスクリット語のアヴァロキテシュヴァラとして深く信仰されました。原語の世界の助けを求める声を観ずるという意味を中国後に訳して観世音観音菩薩、略して観音となりました。中国ではグアンインと発音して、時代が下がるにつれその慈愛に満ちた姿が、女性のようであることから慈悲の女神として信仰されるようになりました。

（ 図１ ）

日本では仏教が伝来されて以来、現世利益の本尊として信仰を集めました。早い例で飛鳥時代、７世紀に制作され、現在法隆寺の夢殿に安置されている救世観音（ぐぜかんのん）は、明治時代にアメリカ人のアーネスト・フェノロサと岡倉天心が発見するまで、秘仏として幾重にも布で覆われて保管されていたため、木造でありながら１３００年を経た今でも金箔が美しく残っていることで有名です。（図１）２メートル近い像は、中国の北魏様式を真似て、衣の端が両脇に魚のひれのように広がり、面長の顔に切れ長な目、唇には微笑みを浮かべる姿は、聖徳太子をモデルにしたと伝統的に言われています。日本仏教の父と称えられる聖徳太子が、観音菩薩と重ねられて敬われたことがわかる例ですが、その像様は特殊で両手で宝珠を持つ姿で現されています。

9 世紀初頭に空海によって日本へ密教がもたらされてからは、多面多臂の仏像が多くみられるようになり、大阪観心寺の秘仏、如意輪観音像（図２）のようにエキゾチックな雰囲気の濃い像が作られました。6 本の手にはそれぞれ蓮華、宝珠、法輪、数珠などを持ち、右足は立膝という珍しいポーズはインド的ともいえ、鮮やかな唇や肉感的な姿態はそれまでの清楚な仏像は違った印象を与えます。望みをかなえてくれる宝珠を持つ菩薩として、密教の多くの仏像のなかでも特に平安貴族に信仰されました。

（ 図２ ）

同時に十一面観音も多く作られるようなり、都の大寺院のみならず地方のお寺でも十一面観音を本尊として民衆の信仰を集めたことが、現在でも琵琶湖の周辺に残る多くの平安時代の観音像によってわかります。特に湖北は観音の里として知られ、長浜周辺には百体以上の例が現存して、多くは今でも地域の人々によって守られているそうです。中でも有名なのは国宝に指定され

ている渡岸寺（向源寺管理）の十一面観音立像です。（図３）この十一面観音はヒノキの一木造り、2 メートル近い迫力のある像で、その名が示す通り頭上の頂に慈悲の象徴の菩薩面、まわりに菩薩面、憤怒面など６面、顔の両側と後ろ、本面を合わせて１１の顔を持ち、その偉大な功徳により衆生を救うとされています。くびれた腰を少しひねって立つ姿はスラリと均整がとれて、衣の襞も端麗に彫られています。表情は優しいというよりも、神秘的な気品に満ちた面立ちで、平安初期の仏像彫刻の中でも特に優れた例とされて国宝に指定されたことがうなずけます。

（　図３　）

十一面とともに更に千本の手を持つ千手観音は、あらゆる苦難に慈悲の手を差しのべて衆生を救うと信じられました。実際に千本の手を持つ彫刻も数こそ少ないながらありますが、大体の場合は合掌する２手の両側に扇状に広がる 40 本の手で千本を象徴しています。最も有名な千手観音は鎌倉時代を代表する仏師、運慶の子、湛慶とその弟子たちによって１３世紀中葉に制作された京都の三十三間堂の千一体の千手観音像でしょう。（図４）三十三間堂、正式名蓮華王院の千体の千手観音立像は最初は後白河法皇によって 1164 年に発願されましたが、1249 年に焼失してしまいます。その後 1266 年にお堂が旧規模で再建され、焼失を逃れた 124 体の千手観音像にならって残りの 876 体と中尊の丈六[i]の座像が作られました。

（　図４　）

三十三間堂は南北 118 メートルの横長のお堂で、内陣の柱の間が 33 あることからこの名がついていますが、33 という数字も観音が時と場合に応じて 33 の姿に変化して人々の救済にあらわれるという信仰にあやかっています。蓮華座も合わせると 3 メートル以上の立派な中尊の両側に 500 体ずつ整然と並ぶ等身大の千手観音像は正に総観ですが、その前列に並ぶ二十八部衆と両脇の風神・雷神像も見逃せません。中尊の四方を守る四天王はじめ、二十八部衆の多くは元はインドのヒンズー教、バラモン教、ジェイナ教、または自然の神々が仏教に吸収されて、千手観音の眷属となったとされています。鎌倉時代の写実的技法を活かした等身大の像は、一体ずつ個性豊かな表情で、後方の千手観音の穏やかな表情とのコントラストが印象的です。抹香に満ちた薄暗い堂内をゆっくり歩いて一体ずつ拝観すると、周りに大勢の観光客がいても静かな気持ちになれるのが不思議です。

末法思想が広まった 10 世紀ごろからは、観音菩薩は阿弥陀如来の両脇侍として勢至菩薩とペアで作られることが多くなります。死の床で南無阿弥陀仏と念仏を唱えれば、必ず阿弥陀如来が二十五菩薩を従えて来迎するという教えが広まり、多くの阿弥陀堂が建立されました。京都の郊外、大原の三千院の阿弥陀三尊像の両脇侍は日本独特の大和座りという珍しい像で、正座から今にも立ち上がろうと腰

（ 図５ ）

を浮かせた動きのある姿勢で表されています。阿弥陀如来の向かって右に控える観音菩薩は、両手で死者の魂を乗せるための蓮華座を差しのべています。（図５）ふくよかな頬に小さい口、切れ長な目は伏し目がちで、その優雅な美しさは平安後期の藤原貴族の美意識を反映しています。観音信仰は時代を経ても衰えることなく、禅宗が一世を風靡した室町時代には白衣観音（びゃくえ）という更に女性的な姿で水墨禅画の題材として描かれるようになります。滝のわきに座して静かに瞑想する白衣観音は、座禅の教えを体現していますが、この題材が江戸時代には白隠（１６８５－１７６８）という異例な禅師の出現によって、革新的な水墨画に生まれ変わったのです。（図６）思わず微笑みたくなるようなユーモアたっぷりな観音の表現からは、社会的地位や体制に背を向けて庶民に禅の教えを広めることに生涯を捧げた白隠の哲学が読み取れます。「仏教の教えは堅苦しいものではなく、毎日の生活に密着したものなのです」という声が聞こえてきませんか？深く難解でもあるとされる禅の教えを、わかりやすく庶民に伝えるために描かれた、親しみやすくユーモアに満ちた白隠の観音は、のちに続く仙厓にも通じる日本独特の禅の展開を象徴しているといえるでしょう。

（ 図６ ）

図１：救世観音、法隆寺、奈良、7 世紀

図２：如意輪観音、観心寺、大阪、9 世紀

図３：十一面観音、渡岸寺、滋賀、9/10 世紀

図４：千手観音、三十三間堂、13 世紀

図５：観音菩薩、三千院、京都大、12 世紀

図６：白衣蓮池観音、白隠、永青文庫、１８世紀

[1] 丈六は一丈六尺、約４．８５メートルで経典で仏の背の高さとされ、仏像の大きさの基準とされています。三十三間堂の中尊は座像なので、その半分の８尺。

「英国の EU 離脱」問題
－‘Brexit’ or ‘Bregret’ ? －

春 井 久 志

1. 英国の国民投票が「EU 離脱」を支持

2008 年のリーマン・ショックを契機とした世界金融危機の発生による高失業と不況の中で、英国では「EU（欧州連合）の過度の規制が英国の自由を侵害している」あるいは「EU 加盟国の東欧から流入した大量の移民が英国の労働者の職を奪っている」などの批判が噴出した。これを受けて当時のキャメロン首相は 2013 年に国民投票の実施を約束した。2015 年 5 月の総選挙で与党保守党は圧勝した。これを背景に、首相は英国・EU 関係の「改革案」を EU に送り 20016 年 2 月に EU 首脳会議は全会一致でこの改革案を承認した。この改革案の骨子は、①英国は EU の通貨統合や政治統合には参加せず、EU の過度の金融規制を排除する、②EU 諸国から英国に流入する移民への福祉サービスに差別措置を導入する、③EU 法令採決に対する加盟国議会の干渉権限を強化する、などである。首相は「英国は特別な地位を勝ち取った」として EU 残留を主張した。

1973 年に EC（欧州共同体）に加盟した英国は欧州単一市場への輸出増加や競争力強化などで大きな利益を上げてきた。サッチャー政権下の 1985 年の「金融ビッグバン」を成功させた英国では、2000 年代以降、国際金融街「シティ」を抱えるロンドンはユーロ取引の急増で繁栄する一方、単一通貨「ユーロ」に非加盟のため 2010 年の「ユーロ危機（欧州債務危機）」を回避した。

離脱派は、EU 離脱で主権を回復すれば、英国は繁栄すると喧伝した。離脱ショックによる「ポンド安」で英国製品を大量に輸出して経済成長を図る一方、EU 財政への拠出金（ネットで約 70 億ユーロ）が節約できるので、利益の方が大きくなる、と主張した。

残留派は、離脱すれば損失の方が大きいと反論した。離脱後は、EU が結んだ多数の対外貿易協定や現在進行中の自由貿易協定の交渉から外れるため、英国は独自に交渉を始めることを余儀なくされる。EU との間に経済面で障壁ができれば、日本など世界各国から英国に進出した多国籍企業や大手金融機関は生産拠点や金融業務の一部または全部を欧州大陸などに移転させる可能性がある。さらに新規の対英直接投資も減少し、英国経済が被る損失はきわめて大きくなる恐れがある。

2. 英国社会の変遷と EU との関係の変化

欧州統合を目指す EU はこれまで様々な試練に遭遇してきた。先述の世界金融危機を契機とした「ユーロ危機」や中東の政治不安や内戦による難民など大量の移民の EU 諸国への流入問題などである。今回の英国の離脱の決定は、これまでの EU の成果である「単一通貨ユーロ」、人の自由な移動（域内国境管理の廃止）を定めた「シェンゲン協定」および EU の根幹ともいえる単一市場さえも危機にさらすことになった。

2015 年の総選挙時には、離脱支持率は高齢者ほど高く、若年者ほど低かった。また、当時は残留派が優位であったが、変化は今春以降に生じた。EU へ押し寄せた大量の難民の一部が英国にも流入した。グローバル化の恩恵を享受してきたエリート・富裕層と低賃金や失業などに苦しむ労働者を中心に移民への反感、貧困への転落の恐怖に苛まれる非エリート・低所得層との間の「富と所得の格差」が急速に拡大し、英国社会は二極化した。

これまでのところ、英国経済の視点から見れば、「EU 加盟」は明らかに「賢明な選択」であった。英国は単一通貨ユーロやシェンゲン協定を選択しなかったが、他方、英国内で設立免許を与えられた金融機関はあらゆる EU 諸国内で海外支店を設置し、大量の金融商品を販売することができる「単一パスポート（免許）」制度の恩恵を享受してきたからである。

今回の国民投票で残留を選択した地域は、特殊な歴史的事情のある北アイルランドとスコットランドを除くとロンドン市だけであった。つまり英国社会はグローバル化の恩恵で金融業が潤うロンドンと恩恵をあまり受けられないその他地域に二分されている。このような格差の拡大が、今回の離脱決断の背景にあった。

3.　今後の EU との脱退交渉：「3 つのシナリオ」

EU 基本条約（リスボン協定第 50 条）によれば、離脱の手続きは英国が欧州理事会（首脳会議）に EU 脱退を公式に通告することで始まる。いつ通告するのかについては規定されていない。ただし、通告した後は、英国が一方的に撤回することはできない。英国を除く欧州理事会が決定する交渉指針の下で、脱退およびその後の広範な貿易・協力関係を定める協定の交渉が 2 年を限度に進められる。この交渉期限が経過した後は、英国は自動的に EU 加盟国としての地位を失う。またこの交渉期限は、英国を除く EU 加盟 27 か国の全会一致による同意がない限り延長されない。

仮に協定が期限内に合意されたとしても、英国は EU がその他の国や地域と締結した自由貿易協定(Free Trade Areas）や特恵協定等から外れるため、英国はそれらの協定を独自に締結し直す必要が生じる（上図を参照)。2017 年以降に開始されると見なされている英国と EU との交渉の展開や両者の関係の推移としては、以下の「3 つのシナリオ」（下図を参照）が考えられる。

シナリオ 1：　英国が欧州理事会に早期に脱退を通告し、EU 側も現実的に対応して包括的な貿易・協力協定（EU 機能条約上の連合協定等）で速やかに合意する（‘Brexit’）ケース。この場合、英国・EU 関係や世界経済の安定には寄与するが、EU 懐疑派の強力な加盟国が英国に追随するかもしれないというリスク（「ドミノ効果」）が懸念される。

シナリオ 2：　英国の脱退通告後、交渉が成立しないまま 2 年の期限が経過し、しかも EU 側が交渉期限の延長に同意しない場合、脱退後の取決めがないまま英国が加盟国としての地位を失う（‘Bregret’）ケースである。これは英国・EU 関係を不安定化し、世界経済にも悪影響を及ぼす。またスコットランドが独立して EU に加盟する機運が強まる恐れもある。スコットランド民族党は、英国が脱退すれば 2 回目の住民投票で英国から独立し、EU へ加盟する意向を表明した。さらに英国の分裂はスペインのカタルーニャ地方やバスク地方など、その他の EU 諸国の地域独立運動を刺激する恐れもある。各国の極右・極左両方の EU・ユーロ離脱運動へと発展することも懸念される。

出所：「経済教室」、2016 年 7 月 1 日付け『日本経済新聞』。

シナリオ 3：　英国が脱退通告を遅らせている間に経済状態が極端に悪化し、保守党政権が 2 度目の国民投票の実施に追い込まれ、その結果、逆転して EU 残留が決まるケース。しかしこの場合でも国民投票には法的な強制力がないため、離脱を実現するには議会の多数による可決が必要とされる。1 回目の国民投票の結果である EU 離脱が法的に成立しないケースの可能性も出てくる。その場合には、改めて「民意」を確かめるために下院の総選挙が実施されることも考えられる。しかしその結果、「国民の総意」が決まらず、英国社会と経済が大混乱に陥る「最悪のケース」さえ懸念される。

4.　英国は「いいとこ取り」を狙っている？

2004 年にポーランドやハンガリーなどの旧共産圏の東欧諸国が「東から西への民族大移動」を始めた。これを契機に、EU 労働市場へも大量の移民が流入してきた。英国は EU の単一市場への参加の権利を保持しつつ、東欧からの労働者の流入にはある程度歯止めをかけたいと考えている。これは、6 月の国民投票に先立って、今年 2 月にキャメロン首相（当時）が EU から勝ち取ったという「改革案」の趣旨でもある。国民投票の直後、ブリュッセルを訪問した首相と対峙したドイツのメルケル首相は「そんないいとこ取りは許さない」と釘をさした、と報道された。

英国はこれまで、ユーロに参加していないにもかかわらず、ロンドンは外国為替、債券、デリバティブ（金融派生商品）をはじめ、ユーロ建て取引の世界最大の拠点となっており、さらにそれらの取引の決済業務のほとんども担ってきた。しかし 2011 年に欧州中央銀行は、金融システムの安定性の観点からユーロの決済業務をユーロ圏内に置く「現地主義方針」を打ち出した。これに対して、ロンドンの国際金融街「シティ」の地位を損ない、単一金融市場を分断する恐れがあるとして、英国は欧州司法裁判所に提訴し、2015 年 3 月に英国が勝訴した。しかし正式に EU から離脱すれば、もはやそのような便益や特権を享受し続けられる保障はなくなるかもしれない。

他方、英国の EU 残留の引き留め策の一環として 2014 年に打ち上げられた「資本市場同盟構想」も、EU 脱退となれば宙に浮く形となる。この資本市場同盟は「銀行同盟」と並ぶ「金融同盟」の主柱であり、EU の資本市場の統合と直接金融の活性化を通じて経済成長を促進しようとする試みである。しかしロンドンを欠いた資本市場同盟は、英国にとっても EU にとっても大きな打撃となることは必定であろう。

英国は EU の前身（EC）に加盟した 1973 年以降、単独で通商交渉などをした経験がない。政府の人材不足は明らかであり、官僚だけでなく民間の人材を最大限活用することが必須となるであろう。幸いにして英国には法律家や会計士、コンサルタントなど複雑な交渉能力に富む人材に恵まれている。専門家集団がロンドンを中心に集積されていることは英国に大きな優位性を与えている。英国経営者協会会長のバーバラ・ジャッジ（Barbara Judge）氏は EU 脱退交渉に民間人を積極的に活用することを提案している[1]。離脱後の EU との関係の 1 つのモデルとして、英国が検討する価値があるものが「ノルウェー型モデル」である。すなわち、欧州経済地域（EEA）の一員となり EU の単一市場にアクセスする代わりに、人の移動を認め、EU に拠出金も支払う。それ以外に、多数国と個別分野で多くの協定を結ぶ「スイス型」方式や、世界貿易機構（WTO）のルールを利用する方式もある。しかし望むらくは、「英国型」とも呼ぶべき EU との新しい関係の構築も検討に値する。すなわち、財・サービスの貿易はこれまで通りの自由が保障される一方、人の移動については若干の制限にとどめるが、EU への拠出金は今より減額して支払う新しいモデルである。

今後の脱退交渉は、世界中の耳目を集めることになると予想される。

[1] 「グローバル・オピニオン」、2016 年 8 月 8 日付け『日本経済新聞』

英国春秋つれづれに

ショック、ショック、大ショック！　投票日の翌日６月２４日、朝一番のＴＶニュースの開票結果を見て、茫然自失の態、白昼夢には早過ぎるから、これは前夜の悪夢の続きか？とわが目と耳を疑うばかし。それでも「ＥＵ離脱 51.9%で決定」の文字が容赦なく飛び込んでくる。昨夜はスコットランドの開票結果を見て“安心”してベッドに就いたのにと、まだ未練気に画面に食い入るが数字に変化なし。

数日前に訪れた歯医者の、「私は離脱組」と云った憎らしい顔が思い出された。「密かな離脱組」と白状した近所のもと教師のずるそうな顔や、ボリスやファラージュの勝ち誇ったような顔も、浮かんできた。ド・ゴールの「それ見たことか」と言わんばかりの冷ややかな顔や、ヒースの「情けなさそう」な顔すら次々と冥界から送られてきたような気がした。

今後、コットランドやアイルランドの進退も気になるし、せっかく緊縮財政でいい線までやってきたのに、新政権は国債発行で日本の後を追うような気配もあり、入国管理やパスポート発行でいつももたつくＵＫが、そう簡単に移民をコントロール出来そうでもなし、そしてこれは重要点であるが、ポンドの下落によりわが資産の目減りをどう解決してくれるか、すべてがこれからの離脱交渉に関わってくる。シティから金融機関の脱出、自動車等のメーカーのＥＵ圏内への移転などの問題が実現されれば、それにどう対処して行くのか、長いトンネルに入りこんだ今、そう簡単に出口が見つかるとは思えない。

英国春秋俳壇

俳句同好会

逝く夏を惜しむや空にうろこ雲　　日出美バンダースケィフ

一面の芝生にしみ入る暑さかな　　宣美ロビンズ

柔らかな陽を浴び笑まうひな人形　　富美子マスィー

春の閑尼僧院の鐘おごそかに　　藤原さかえ

咲き乱る紫苑の蜜に蜂群れる　　福重久子

秋分やいずこに咲くやまんじゅしゃげ　　悦子キング

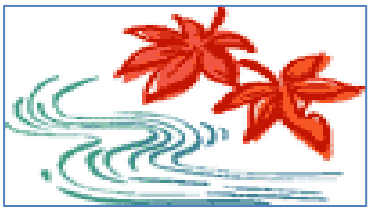
月照らす車の影に立（あるじ）無し　　康子ロケット

十五夜の孫の団子はおぼろ月　　上田陽子

旅の宿カンナの花に迎えられ　　葉子デニヤ

眺め居て心和めりおひなさま　　松尾美和子

敬老の日に祝わるる身となりぬ　　田口邦子



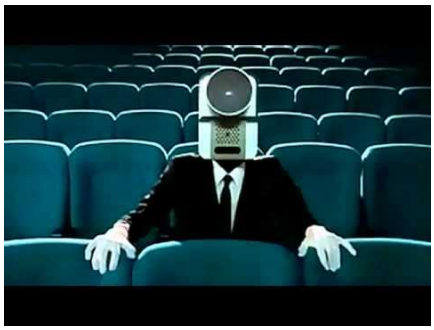
「俳句を学ぶ会」も始まりから三年半となり佳い句がふえております。

「映画から学んだ人生」

渡邊道英

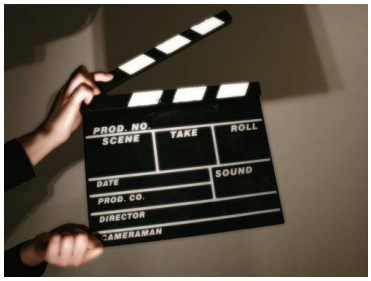
雑学大学第 377 回講義　：　教授　越智（渡邊）道英　（武蔵野シネマ倶楽部会長）

映画という第八番目の芸術に、真っ向から立ち向かったのは学生時代（1961～1965）であり、映画界（大映京都撮影所）に身を投じた５年半（1965～1970）であります。その後今日定年を迎えた現在までに出逢った「世界の映画」および「映画人」は膨大なものになります。



代表的な映画作品としては フランスの映画草創期の『月世界旅行』『散水夫』『アンダルシアの犬』 に始まり、１９２７年トーキー時代の幕開け『巴里の空の下セーヌは流れる』『天井桟敷の人々』『旅路の果て』『ミモザ館』『女だけの都』モンタージュ理論の完成と実践で世界の映画を牽引したロシアの SM エイゼンシュタイン、プドフキンの作品『戦艦ポチョムキン』『母』そして日本でも『十字路』『生まれては来たけれど』『祇園の姉妹』『国定忠治』と言った無声映画及びトーキー初期の傑作が登場。
衣笠貞之助、小津安二郎、伊藤大輔、伊丹万作、溝口健二監督などが 世界に知られるようになった。
ハリウッド時代の『市民ケーン』『駅馬車』『真昼の決闘』『捜索者』『黄色いリボン』『シェーン』『ジャイアンツ』『ナバロンの要塞』『カサブランカ』『夜の大捜査線』『ゴッドファーザー』『ドクトルジバゴ』『ウエストサイドストーリー』『ニューシネマパラダイス』は世界中の映画ファンを夢中にした。

一方、映画人として一緒にスタッフ、キャストとして出逢った皆さんは市川雷蔵、勝新太郎、中村鴈治郎、八千草薫、安田道代、中村玉緒、藤村志保、水谷八重子（二代目）、浪花千栄子、森光子さん他沢山の名優たち、さらに一緒に仕事をしたスタッフの皆さま達。森一生監督はじめ田中徳三、池広一夫、三隅研次、安田公義、井上昭監督。カメラマンの宮川一夫、今井ひろし、森田富士郎さん。美術の西岡善信、内藤昭。照明は中岡源吉、美間博。音楽の伊福部昭先生など枚挙にいとまない、こうした数千本の映画や、沢山の映画人から学んだ事実は掛け替えのない貴重な財産です。この私が学んできた財産をこれからの若い世代に伝えたいと願って始めたのが『映画に関する研究』であり、映画の鑑賞会の実施です。音楽、絵画、演劇など有史以来あったものに比べ「映画文化」そのものの歴史が浅く、せいぜい１００年足らず、科学が生んだ若い芸術であり、揺籃期を過ぎた程度と考えるべきでしょう！？しかしながら、これまでのおよそ半世紀の映画史ほど華やかで、且つ世界の経済、文化、科学の先頭に立って、牽引し、その中核にあったことも事実です。



エジソン、ルミエール、エイゼンシュテインと映画の成立過程は自然科学が優先し従来になかった新たなコミュニケーション手段として、新たな「映画言語」の創造と開発が繰り返されて来ました。なお映画は他の芸術とは異なり、膨大な資金と設備を必要とするいわば一大装置産業が生み出す所産である事です。つまり、それは西欧でスタートした映画作りが、個人の実験劇場であり、世界各国に伝播した際も、小規模な仲間内で制作されると言ういわば家内手工業的規模のものでした。やがてハリウッドを代表する巨大設備を要する大撮影所（イタリアの Cinecittà、太秦、砧、調布の STUDIO）が必要となり、マーケットも売上高も巨大産業となって行きました。文化、経済ばかりか政治までも巻き込む（国家が経営。戦力的国家思想の押し付けなど）事になっていきます。

第二次世界大戦が終わって、各国ともに戦後復興の苦難の道のりの中、唯一の安価な娯楽を求めて映画に殺到、一時的ではあっても映画産業が鉄鋼、電力など大手産業を押さえ、売上高がトップとなって国家経済を牽引するまでになって行きます。作れば売れる（観客が映画館に押しかける）時代に突入「売り手市場」が続いた。この事が結果的には映画界が奈落の底に突き落とされる事になっていきます。つ

まり、安易な映画制作にのめり込み映画ファンが映画館に来なくなって来る。一方新たなメディア TV が映画産業の疲弊に拍車をかける事になっていきます。こうして、一次（戦前）二次（戦後復興時代）の映画産業ブームが去ってしまいました。

２１世紀に入るとまたまた映画ブームが押し寄せてきました。これは「映像人間」（TV や TV ゲームで育った若者たちが）が極端に増加したこと。「シネマコンプレックス」と言う映画上映システムの発達により、高価なフィルムを使わなくても安価なデジタルで映画制作が小規模で、簡単に出来ること。フィルムを使わないで「シネマコンプレックス」で上映することが可能。人件費も少なくて済み継続性が確保されている。

「映画」そのものがまだまだ成人式を迎えたばかりと考えていますので自らも映画制作をやっていくつもりですが、若い世代を育てたいも考えています。『武蔵野シネマ倶楽部』の結成はその映画運動の一歩とも考えています。今回の貴重な雑学大学での講義の中身は「映画ファンの目」「映画製作者側の目」そして「映画研究者の目」で捉えた要点を講義の中身にしてみました。

「大人の言葉」そして、
「大人の言い分」

石山望

「あの～、京子さん、一寸聴いてくれる？
あのさあ、昨日久しぶりに、元の職場からお呼びがかかってさあ、別に行きたくもなかったけれど、まあ、少しお小遣いになるからと思ってさあ、行ったワケ、。それはいいんだけれど、そこにいた厭な職員にケンケンケンケン、散々っぱら訳の分らないこと言われてさあ、もうアッタマ来ちゃってさあ、怒鳴り返しちゃった、。ボク、普段はそんな男じゃないんだけれどえ、。どう思う、京子さん？」
「・・・mm・・・そうねえ、世の中には色んな人がいるからねえ・・・」

京子さんとは永い付き合いである。聡明で、社会経験豊富。世の中のことは、私より遥かに良く知っておられる、。ところで、私、この「世の中には色んな人がおられます」という言い方が、余り好きではない。その一言で、大抵のことが片付いてしまうからである。突き放された様で、取りつく島が無い。会話もそこで止る。「ああ、うまくかわされたな」と思う。私からすれば、この言葉には何ら実体がなく、何も言っていないのと同じことである。

（だって、そんなことを言えば、その「色んな人」には、極端な話、誘拐魔も殺人者も色魔も入ってしまう訳でしょう？）しかし、それで、誰が傷つく訳でもない。何とか、すべてのことが”一応は”丸く収まる。さすがは京子さん、賢い。如何にも「大人」である。

私が、京子さんから期待していたのは、勿論、「世の中には、色んな人が、、」などと言う「一般論」ではない。せめて、「・・・色んな人がおられるけれど、その職員とか言う人、どんな人なの？良かったら聞

かせて、。」とでも言って欲しかったのだと思う、私。でも、「大人」の京子さんを、こんな詰らないことで煩わせてもなあ、。あ～あ、子供が大人の世界に入り込むのは、本当に難しい、。

アッ、大人の言葉と言えば、こんなのもありました。
「只今ご質問の一件に関しましては、今後共、”前向き”に対処して参る所存でございます、」
----------さて、と、、。

お前なあ、「世の中には色んな人がおられます」というのが、如何にも「大人の言い方」で、気に喰わねえってえことだが、よく考えてみなよ、。お前さんの経験したという、一寸した「厭な思い」に、関心を示して下さるお人なんて、世の中に誰もいらっしゃらねえよ。甘えたれるんじゃねえ、お前の家族でも、先ず駄目だね、正直言って、。大人に文句を言うんなら、テメエが、もっと「大人」にならなくっちゃいけねえ。俺は、心底からそう思ってる、。

「世の中には色んな人がおられます」なんぞ、綺麗で、実に含蓄に満ち溢れた言葉だよ。お前が幾ら御託を並べたって、敵いっこねえ、。そうは思わないかい、え？思わねえとすれば、そりゃ、お前の方が間違ってるんだよ、。賢い大人を見習うべきだよ。それをお前さんと来た日にゃ、自分で子供を自認しているとは言え、そういうことを無視して、ズカズカ、可成り立ち入ったことを、人様に、言ったり、訊いたりするんだから、もう、、。それも、相手のお人を良く知っているんならまだしも、殆んど知りもしないお人にさ、、。人様が厭がられるのも当然だよ、。昨日初めてお会いしたばかりの人のお宅に伺って、ろくに挨拶もせず、土足のまま、上がり込む様なものじゃねえか、。どう思ってるんだか知んねえが、そりゃ、失礼千万というものだよ、、。何が恥ずかしいったって、テメエ程恥ずかしい人間ったら、ありゃしねえ、ったく、、。

私、英国に永らく住んでおります関係上、英国人の友人は何人かあります。そこで、その英国人に関して、まあ、どちらかと言うと「一般論」ですが、日頃感ずることがあるんです。それは、大抵の英国人、会話の運び方が、実に上手いということです。まあ、それは、その人の教育の程度にも依りますが、。
会話の相手が、まだ知り合って間無しの場合、個人的なことを、殆んど訊かれないんです。その相手の人に興味があったとしても、です。まあ、その相手のお方が、自発的に自分のことをいわれる、。それを待っておられるんでしょうけれどね。でも、そうは言っても、本当にイライラして来ますよ、英国人に初めてお会いすると、。私が知りたいのはその人ご自身のことなのに、お天気の話ばかりしておられたりするんですからね、。私が、シビレを切らせて、「少し」（本当に「少し」だけですよ）個人的なことを訊きますと、その英国人、不意を付かれた様に、怪訝な顔をされますが、「極東の変った子が何かほざいてるわい」とばかり、私、軽く、適当にあしらわれます、。

私、そういうことが、可成り分って来ましたので、大分ましにはなりましたが、それでも、まだ、場違いで突拍子も無いことを、口走ってしまうことが、よくあります。
所で、私、嘗て、ジャックさんと言う、かなり育ちの良い英国人を知っていました。故人。その人は、会話が実にお上手でしたね。極めて誠実な人でしたが、普段は（上品な）冗談ばかり言っておられるのです。それでいて、言うべきことは、きっちり言われる、。私も、斯くありたいものと、、。

シェイクスピア劇の女性たち

小川のり子

「シェイクスピアはメイルショーヴィニストである」とは、私の偏見に満ちた評価である。がもっともこれは彼の戯曲 37 作の内、ヒロインの名を冠した作品がごくわずかで、ほとんどがヒーロー名のタイトルが多いと言う、全く単純きわまる理由からであるが。

数えてみると女性の名が顔を出すのは、悲劇の「ロミオとジュリエット」、問題劇の「トロイラスとクレシダ」、歴史劇の「アントニーとクレオパトラ」、そして強いてあげれば、喜劇の「ウインザーの陽気な女房たち」の 4 作。残りは「ハムレット」「オセロー」「マクベス」と男性主人公名のタイトルが２１作続き、あとは「十二夜」、「冬物語」、「間違いの喜劇」など説明的な題が付けられている。

もっとも彼の活躍したエリザベス朝時代は、男性がすべてを支配した時代で、歴史劇の「ジュリアス・シーザー」や「リチャード３世」、イギリスの国威高揚劇「ヘンリー5 世」などは大衆が最も望んだドラマだったのであろう。又、彼がソース源として使った種本にも、女性を描く物語が少なかったのかも知れない。それともう一つ、この時代の芝居は全て男たちで演じられたので、女形を演じられる役者が少なかったのも理由かと、これは私の憶測ではあるが。話は少々脱線するが、ほぼ同時代の日本では（安土・桃山時代）、踊りを中心にした芸能が、阿国（おくに）と呼ばれる女性によって盛んになっている。その後、いくたの変遷を経て、現在の男性ばかりで演じられる歌舞伎になったそうである。

しかしながら、タイトルは別として彼の作品の中で、主役ではないが女性の占める位置が重要なキーポイントで、彼女なしには“はなし”にならなかったというのが沢山ある。その中から「彼女こそは・・・」と思われるのを 3 作選んでみた。

まず初めに、自分の夫に、「やると言って、やめたと引っ込むのは女々しいにも程がある」とけしかけ、国王殺しをさせてしまうマクベス夫人を「マクベス」から。次に、自分の夫に、「決して身から離すな」と贈った結婚指輪を、彼が人手に渡してしまったのをよく知りながら、「あの指輪を今見せて」と迫るポーシャを「ヴェニスの商人」から。そして最後に、登場場面は少ないが我が子に、「ローマと戦わないで」と懇願し、その結果彼を破滅させてしまうヴォラームニャを「コリオレーナス」からを選んでみた。

マクベスが戦場からのかえり道に出会った魔女の予言が２つとも的中。３つ目はやがて「スコットランド王になるであろう」と言うもの。しかし現国王、ダンカンが健在なので、主殺しをせねば王位には付けない。ここでマクベスは大いに悩み、ごく普通の人並みに「やっぱりやめておこう」と思い止まろうとする。が、いったん「やる」と言って「やめた」は男らしくないとそれを奥方が許してくれない。そして彼女はこの後、「私の顔を見上げてニコニコ笑っている赤ん坊の柔らかい歯ぐきから、乳首を引ったくって、その脳味噌をたたき出して見せます、さっきのあなたのように誓った以上は」と凄んでみせる。（小津次郎訳）

戦場では勇猛無比なマクベスが、この強烈な言葉の刃（やいば）で良心をえぐり取られ、自制心を失い破滅の道をたどっていくのは時間の問題。ご承知のように妻の手を借りて、主君を殺害してしまうのだが、それ以降の二人の行動は確固とした決意とは裏腹に、支離滅裂で破滅に向かって一直線。血が血を呼ぶのか新たな殺人を重ね、猜疑心が新たな猜疑心を生み、亡霊に悩まされ、夢遊病者としてあらぬ言葉を口走りながら寝室を彷徨。

「消えてしまえ、こんな汚点（しみ）！消えよ、というのに！・・・一つ、二つ。・・・、もう時間だ・・・地獄は暗い…あなた、なんですか！軍人のくせに、こわいんですか？・・・だれが知ろうと気にすることな

んかありますか？わたしたち国王を咎め立てする者はないはず・・・それにしても、あんな老人にこれほど血があろうとは？」と侍女と医師に聞かれているとも知らず、もちろん自分自身も知らずのうちにマクベス夫人は殺人告白。そして、結局彼女は良心の呵責に耐えきれず自らの命を絶ってしまう。いったん決心すれば、「自分の乳首を吸っている我が子の脳天でも叩き割って見せる」と豪語した夫人の計算違いは、野心（意識）の裏に良心（無意識）の世界が広がっているのに気付かなかったからだろうか。それから、これは蛇足めくが、このドラマに登場する３人の魔女の存在も、マクベスの浮沈を担う女性たちとして、重要である。もし彼女達の予言が２つ目で終わっていたら・・・・・。

「ヴェニスの商人」と言えばまず高利貸しのシャイロックを思い浮かべるが、題の商人とはアントーニオ。もう少しでシャイロックから借金のかたに自身の肉１ポンド分を切り取られかけた男である。マクベスと違って話の筋は少々複雑だが、最後は全てがうまく収まるので後味は悪くない。ただし、シャイロック贔屓を除けばだが。

男が“玉の輿”に乗るにはそれ相当の軍資金が必要。と云う事で文無しのバサーニオは友人のアントーニオに借金を申し込む。頼まれた彼は現金が手元になかったので、高利貸しのシャイロックから金をかりる。当時としては驚くほどの好条件の無担保で金利なし、ただし「期限に返済できなければ彼の人肉１ポンド引き渡し」であった。友人の用立てのおかげでバサーニオは大富豪の美女ポーシャに選ばれて（？）、「決して身から離してはいけない」と結婚指輪を贈られ大満足。しかしアントーニオの船が難破して期限までに借金を返せなくなってしまったことを知り、玉の輿成功男のバサーニオは現金持参で彼の救済に駆け付ける。しかしシャイロックは「証文」を盾に一歩も譲らず、アントーニオの人肉を要求。ここからクライマックスの「人肉抵当裁判」が開かれる。

侍女ともども男装で法学者として法廷に乗り込んだポーシャは、「証文通り人肉１ポンド決行」と言い渡しシャイロックを狂喜させる。「名裁判官ダニエル様の再来だ。年はお若いが名裁判官だ」と（小田島雄志訳）。しかし、その通りにならなかったのは周知のこと。「肉は切っても血は一滴も流すな」と普通に考えれば何とも無茶な判決が後続する。全くの迷判決と思えるが、おそらく当時の芝居小屋では、客席からやんやと喝采を浴びたセリフであったのだろう。しかし、今でも何とか法の目をかすめ、脱税をはじめ、殺人まで無罪にさせてしまう、詭弁を弄する弁護士がけっこういるので、このポーシャなどは、その手の法律家のはしりであったのだろうか。仕方なくシャイロックは人肉を引っ込め、現金返済を要求するが、いまさら手遅れと拒否され、なんと財産没収されたあげく、キリスト教に改宗までさされてしまう。芝居とは言え、法文も人権もあったものではない無茶裁判ではあるが、人間の心の何処かには、これを喜ぶ人種差別の驕りが潜んでいるのだろう。

話はかわり、裁判も無事終わり、バサーニオはポーシャのもとに戻ってくる。そして彼の指に例の結婚指輪がないことに気付かれてしまう。実は友人を助けてくれたあの裁判官にどうしてもと言われ、“お礼”として渡してしまったと告白。ポーシャはさんざんじらして嫌味を言った挙句、その指輪を懐から取り出し、「何を隠そう、私がその裁判官であった」と種を明かして、すべてめでたし、めでたし、で終わる。

このポーシャ、大富豪のあと取り娘であるだけでなく才色兼備で、いとこの法学者に頼み、そのタイトルまで借用し前出の法廷で大活躍する、シェイクスピア劇では一番の才女である。とにかく頭の回転も速く、父親の遺言による婿選びでは、多くの求婚者の中から自分の求めるハンサムな男に合図して、“銅の箱”を選ばせ、ちゃっかり自分と結婚させてしまう。バサーニオが借金までして彼女に求婚したかいがあったというもの。その後、夫の友人の難事に、機転を利かせ法学者に成りすまし、迷判決で友人を救う。そのお礼にと自分の贈った指輪を無理に請求して取り上げ、夫の真意を試してみるなど、多くの登場人物が彼女に振り回されてしまう。シェイクスピアの活躍した１６世紀に、こんなに聡明で機転が利き、そして夫をやんわりとお尻にしく術を心得た女性がいたとは驚きである。

「コリオレーナス」は上記２作ほどポピュラーではないが、彼の後期の作品、ローマ史劇の一つである。
数年前、名を忘れたが京都の小劇団がロンドンのグローブ座でこれを上演した。多くの役者が着物姿で、なぜかフランスパンが突き出ている籠を背負い、その上、奇妙な音楽に合わせ、日本語らしき言葉をしゃべるものだったので、唖然としたのを覚えている。

コリオレーナスは敵軍の街を陥落させローマを勝利に導く。ところが戦争にはめっぽう強いが、お世辞の言えぬ口下手で、非常に短気、その上民衆をいつも「何も分らぬ奴ら」とバカにしている。ローマ元老院は彼を執政官に推すが、民衆の気まぐれな態度に腹を立てたコリオレーナスは大暴れで、挙句の果ては国外追放の憂き目に遭う。彼が頼っていった先が敵軍の指揮官のもと。そうこうしているうちに彼を新たに加えた敵は力を盛り返し、今度はローマの街自体が危なくなる。包囲されたローマからの敵軍に送られた最後の使者が、コリオレーナスの母親。彼女の出番は少ないが、息子の説得に費やすセリフは、口数の少ない彼の「女々しい心にならぬためには、子供や女の顔を見ぬにかぎる」に対して、このあと延々と５３行続く。

「・・・自分の息子がその本国を蹂躙（じゅうりん）するのを母がこの目で見なければならぬとは。私たちには、お前が敵であるほどつらいことはない。自分たちの国であるローマのために祈るべきか、それとも血を分けたお前の為に勝利を祈るべきか、一体どうすればよいのだろう？・・・・あれほど私の恩を受けながら、この母の切ない願いをどこ吹く風と聞き流すおつもりか。お前はこれまで何一つわたしのためにしてくれたことはないけれど、このあわれな母は、ほかに子供を望まず、ただお前を戦場に送りだし、無事に手柄をたてて帰るのを喜んでいたのです。その私の望みが無理というのなら追い返すがよい。無理でないなら間違っているのはそちら、母にそむく罪は神様がきっとお罰しくださる。・・・」（倉橋健訳）ともうこの辺でやめておくが、脅しと哀願の混濁する言葉が、コリオレーナスの心に作用したのは確かである。このあと彼は母親の懇願を受け入れ、勝手にローマと敵軍を和睦させてしまうが、そのため敵の将軍に虐殺されてしまう。ローマの英雄であった息子をマザコンに陥らせ、挙句の果てに死に至らせる、“海より深い母の愛”とは、一体何であったのだろうかと、つい考えてしまう結末である。

今年はシェイクスピアが亡くなってから４００年目だそうで、年初より各地で数々の催しものが開かれている。そして多くの年月を経てもいまだに愛され、多くの国でその国独自のシェイクスピア劇が生まれているのは素晴らしいことである。取り上げた３人の女性以外にも、夫の死後２か月もしないうちに、さっさと夫の弟と再婚して、息子のハムレットを嘆かせるガートルード（「ハムレット」）、「片目はあなたを見ているけれど、もう片方は心が向く方をみてしまうの」と愛を誓った恋人を裏切るクレシダ（「トロイラスとクレシダ」）、「潔く罪に服して死んでほしい」と兄を叱咤激励するイザベラ（「尺には尺を」）等、頼もしく力強い女性たちが沢山登場する。案外、シェイクスピア劇の魅力とはヒーロー達より、彼らを取り巻く女性の方にあるのかもしれない。

マクベス　・・・何だった、あの騒ぎは？
シートン　妃殿下がお亡くなりになりました。
マクベス　そうか。いつかは死ぬはずであった。こういう知らせを聞くときもあろうと思っていた――　明日が、明日が、そのまた明日が一日一日とゆっくり過ぎて、やがては時の最後に行きつくのだ。昨日という日はすべて、馬鹿者どもが塵にまみれた死にいたる道を照らしてきた。消えろ、消えろ、はかない灯りの光！人生は歩く影法師、あわれな役者だ。束の間の舞台の上で、身振りよろしく動き廻ってみるものの、出場が終われば、跡形もない。白痴の語るお話しだ、何やらわめき立ててはいるものの、何の意味もありはしない。（『マクベス』より小津次郎訳）

英国春秋俳壇

雅子クーパー

夜の椿

夫の死に友泣きくれし夜の椿

墓立（くくだち）を夫と愛でしや過ぎし日々

やぜ初めし我が身を打つや春みぞれ

春の凍て持ち重りする遺灰かな

香り立つ遺影に供ふヒヤシンス

淋しさも悔いの多かり春の情

小満や一人を保つこの重み

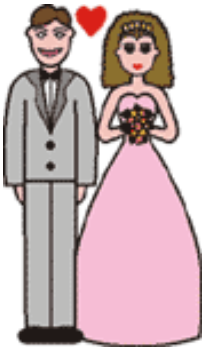
慣れゆかぬ君無き部屋に涼新た

秋日和伴侶の猫は十一才

行末をあれこれ案じ夜の長き

私の結婚観

タミーガフニー



「結婚の深層」A.D. グッゲンビュール. クレイグ著・草元社
を３度読み直し、その中に言及してある、
“多くの男女は誤解の内に結婚し、そして理解して離婚する－つまり決してお互いに分かり合えないと言う事実を悟る。結婚は私事ではない。直接の、あるいはもっと広い家族との接触を絶ちきる事は、何物かを抑圧することに他ならない。（ｐ151）ある意味での犠牲、自己放棄を伴わない結婚生活はあり得ない。それが個性化への救済につながる。人間心理の理解の為には幸福と救済とは概念的にまず区別されなければならない。（P55）結婚は死ぬまで続く。人はそのつもりで結婚生活に入るが、その事のより深い意味は、避けられない生涯に渡る対決と言う事である。「結婚」と言う個性化の道では、人は例え事態が困難で不愉快になっても、相手との対話的対決を避ける事が出来ない、と言う事になっている。過ちは人の性(ｻｶﾞ)なり（ｐ166/167）”
等など、読むたびに目を開かされる。これらの言葉は、モンスーン地帯に位置する米生産地の民族で東洋の儒教的思想の“**場の理念**”（**河合隼雄の「日本人と Identity」参照**）とは違った“**個の理念**”に基づいたキリスト教の個人主義的概念の結婚哲学感の印象を受けるのは、自分がやはり大和民族のアジア人だからでしょう。それと、普通の家庭生活（一組の男女で最小単位の社会生活を営む）基盤が自分に無いから、自分のベースになる場所が無い代りべとついた身内意識が希薄で、何処でも違和感なくスット入っていけるが、人間関係は流動的な環境でしか持たない。その反面色んな人種間の家族（日本でも友人・知人宅の色んな家庭）の内容がサッと観察・体感出来るので、外から入って行くとその家族関係の雰囲気ですぐわかる。宿泊した家族だけでも１０代からこの年齢までに１００家庭以上、（英国に永住して以来）民族の違う家庭と接した。私は戦災後の昭和２２生まれで、オギャーと生まれてから高校生に成るまで１１回引越しを繰り返し、遊牧民並に移動が多かったが、やはり人は結婚、育児を通じて成長して行くように思う。そして、地元に定着して生活するには、適度な距離を置き、付かず離れずの持続した関係を保つ事。それには、個人的な家庭の中身は見せない、人に弱みや都合の悪い事は見せない、そして他人の個人的なことには干渉しない。このマナーは例え兄弟や親戚関係であっても同じ。親が長生きした場合は（自分たちも何れはそうなろうであろう）老後の自分たちの姿を見せて教えてくれているのだと思う。

Anthony　Stevens の著書　”On Jung“　（佐山菫子女史訳）
“父親であれ母親であれ、所詮は過誤を犯しやすい人間である。普通の男性・女性にとって父母の元型の諸特性を全て体現する事など出来ない。親に対して、まずは妥当な親以上を期待することは不合理であろう。にもかかわらず、子供としての我々は親が神である事を期待し，彼らが他の人達と同じように過ちを冒したことを知ると大変な失望落胆に苦しむ。”とあり、Oscar　Wild の残した言葉に次のような言葉がある。
“子供達はまず、自分の親を愛する事から始める。そして、成長するにつれて彼らを裁くようになり、そして、さらには、時には彼らを赦すことも出来るようになる”

この事実に、（今人生、還暦を過ぎ半世紀以もの期間生きて）気付いたことは、今後の自分の人生で老年から死に向かって残りの人生をどうやって生きて行くかどうかに大きな違いが出てくると気づかされる。今は亡き母や父を許し、大東亜戦後の大変な時期に無事に育ててくれたことに対して感謝の気持ち以上何もない。父母に対しても、お互いに若い頃に惹かれあって婚姻して子供をなした。両親の遺伝子も自分のなかに存在して自分がこの世に生を受けたので、今では朝食前に親族一同に感謝して勤行を欠かさず行うのは自分の為であることに気づかされる。

英国春秋俳壇

鬼　百　合

エリオットつや子

花冷えや何でもてなす不意の客

猫叱る我も悲しきおぼろ月

子ぎつねの家に入りてはいたずらし

猫抱いて百合の花影ショパン聴く

そうめんの喉すぎたるや水のごと

鬼百合の一弁ひらり上に反り

何ごとも時ありという夏柳

万緑や小道ゆく人小さく見ゆ

古き友贈り贈られ水羊羹

片陰を拾いて歩くバス停まで

カナダからの手紙

田辺　邦彦

拝啓
英国日本人会の皆様、お元気ですか？
３年間のロンドン勤務を終え、５月２０日、外務省生活最後の勤務地であるカナダ国カルガリー市に到着しました。私は２０１８年３月３１日に定年退職する予定ですので、約１年１０ヶ月のカルガリー勤務です。

カルガリーの位置は、北緯５１度０２分にあります。ロンドンが北緯５１度３０分ですので、ロンドンとだいたい同じ緯度にあります。ということは、夏は日が長く、冬は日が短い、との点が共通です。でも、ロンドンとカルガリー、英国とカナダは違うところがたくさんあります。

第一に国土の面積です。英国は、海外領土を除くと日本より狭い国土です。それに対してカナダはロシアに次いで世界第二位。ブラジル、アメリカ、中国よりも広いです。北は寒すぎて人が住んでいない地域が多々ありますが・・。日本の約２０倍と言われています。特にカルガリーのあるアルバータ州から東３つの州は、山も海もない（湖はあります)、穀倉地帯の大平原が約１５００キロメートルにわたって広がっています。日本の本州の長さが約１３００キロメートルですから、その広大さにはびっくりを通り越してあきれてしまいます。車で走っているといつも同じ景色が広がり、飽きてしまうのが難点です。
第二に、人口です。グレーターロンドンの人口は８００万人強もいる人口密集地ですが、カルガリーは１２３万人です。この人数は日本の市町村と比較すると、さいたま市とほぼ同じで全国１０位にあたり、決して少なくないのですが、広大な土地のせいかさいたま市や川崎市のような人口密度感はありません。スカスカです。高いビルはダウンタウンにはありますが、他にはほとんどありません。
第三は、カナディアン・ロッキーです。３千メートル級の山々が連なり、車で１時間も走れば、雄大な山や川に囲まれた大自然が広がっています。川はほぼ自然の川で、護岸工事が施されたテムズ川とは様相がかなり違います。まさに大自然という形容がぴったりです。英国では山を見ることがありませんでした。
第四に、歴史的建造物がない。建国１５０年の国ですので、さすがに、ビッグベン、ウエストミンスター・アビー、セント・ポールなどのような建造物がありません。
第五に、気候です。夏は、経験したところではロンドンと似ていますが、冬に向かって平均気温は、１１月－3.1 度、１２月－7.4 度、１月－8.9 度、２月－6.1 度、３月－1.9 度と、マイナスが５ヶ月間続きます。多くのゴルフ場はコースが凍ってしまうため１１月から３月までクローズしてしまうそうです。しかしながら、ロンドンでは冬は雨が多く、曇天の毎日ですが、カルガリーは、冬の期間の月間降水量は１mm あるいはそれ以下で、ほぼ毎日晴れ、だそうです。曇天の空に、葉がすべて落ちた木々の枝が突き刺すように伸びる、グリーンパークでいつも見ていたような暗い景色を見ることはなさそうです。

余談ですが、昔から暖かい勤務地を希望していたのに、６回の海外勤務の内、４回（モスクワ、ロンドン２回、カルガリー）が北緯５０度以上の北というのは、どういうことなのでしょうね。

カルガリーの歴史を少し語らせてください。ヨーロッパからの入植が始まる前、この地域は先住民ブラックフット族の領地で、一説によると１万年以上前から定住していたといわれています。最初の入植者は、１８７３年、ジョン・グレン（John Glenn）とされています。その後徐々に入植者が増え、入植者の増加に伴い、騎馬警察隊が駐屯するようになります。カルガリーという地名は、１８７５年の夏に、連邦警察(Royal Canadian Mounted Police)の前身である北西騎馬警察隊(North West Mounted Police)

の駐屯に伴って、当地に砦を設置した同騎馬警察連隊長のジェームス・マクラウド（James MacLeod）が翌１８７６年にこの砦を「カルガリー砦（Fort Calgary）」と命名したことに由来しており、ジェームスの親類がスコットランドにあるマル島（Isle of Mull）のカルガリー湾近くに持っていた屋敷の名前「Calgary House」に因んだものだそうです。そのせいか、市内の地名にはスコットランド的なものが多いという話です。

この後、１８８３年にカナダ太平洋鉄道が乗り入れられ、続いて、自作農への土地無償提供政策が実施され、カルガリーには世界各地から移住者が殺到します。１９０１年からの１０年間には人口が二倍に増加し、穀物生産、牧畜業、食肉産業などを中心に発展していきました。

そして１９１４年、カルガリーの南に位置するターナー・バレー（Turner Valley）というところで、遂に石油資源が発見されます。以後、３０年間にわたり、延べ５００以上の石油会社が設立され、カルガリーはカナダ・アルバータ州の石油産業の中心として経済の成長に大きな役割を果たしてきています。

民族構成は大多数がイギリス、スコットランド、ドイツ、アイルランド、ウクライナ、フランスなどのヨーロッパ系で、人口のおよそ８０%を占めます。残りは先住民、中国系、南アジア系、フィリピン系が多いといわれています。

このカルガリーですが、現在では石油・ガス・石炭などのエネルギー関連会社の９０%はカルガリーに本社を持つと言われるほど、エネルギー・ビジネスの本拠地となっています。また、単なる資源産業のみならず、金融産業やその他多種多様な産業も並行的に成長をつづけており、カナダでも有数のビジネスの中心地となっています。近年の原油価格の下落に伴い、今、経済は若干我慢の状態が続いています。普通に生活していると、ガソリンの値段が下がったね、よかったよかった、という声がほとんどですが、この地では、またガソリンの値段が下がった、困った、いつになったら上がるんだ、という声ばかりです。

カルガリーの在留邦人の数は３千人、千人の長期滞在者と２千人の永住者がいます。駐在員の企業会はありますが、英国日本人会にあたる日本人会はありません。しかし、Calgary Japanese Community Association, CJCA という日系人の会があり、毎年、Calgary Japanese Omatsuri Festival を開催し、日本の文化普及、継承に一役買ってくれています。今年の Omatsuri では、私もスピーチを行い、鏡開きをやらせてもらいました。動員人数は８千人（内４００人がボランティア）で、ロンドンのジャパン祭とは規模は比べものになりませんが、飲食物は、CJCA のボランティアの方々が現地で調理、販売するという手作り感がある催しです。でも、実行委員長は、８千人も来たため（昨年は５千人）食べ物が早くなくなり、来年は飲食店を入れないと対応できないとおっしゃっていました。他にも日本文化関係行事があり、当地ではとても人気があります。

さて、これまでのところ、このカルガリーでの私の仕事は順調にできていますが、これから寒くなる冬を迎えても順調に進んで、最後の海外勤務を無事に終えられるよう頑張っていきたいと思います。

末筆になりましたが、英国日本人会の益々の発展と、皆様のご健康を、カナダより心を込めて祈念致します。

敬具

現代人と能

中条アツ子

能は退屈だという人が多い。 それは主に役者の動きがないからだ。 しかしあの不動のシテ(主役)の姿に観客は抑圧された激しい感情を汲み取ることができる。それは不動の動というか、動かないことによって激しい動きを表現しているのだ。この美学は現代流行している less is more の観念の背景となるものであろう。

昔、日本で「 隅田川」という能を見て感動したことがある。京の都から人買いにさらわれた子供を探してやっと母親は隅田川のほとりにたどり着くが、子供は既に死んで隅田川のほとりに埋められた事を知る。この時の母親の悲しみは凄まじいものであろう。しかしこの時の母親の悲しみは能面をほんの少しだけ傾け、下を向くだけて表現される。つまりこの万人に共通する悲しみが凝縮され、抑制され不動の姿となっていくのだ。激しい感情を抑制、即ち不動によって表現するのが能の特徴ともいえる。

中世文学の核は無常観である。日本人は無常観を審美観に反映し、ものの哀れという美意識を確立した。悲哀をむしろ 好む傾向は、我々日本人が短調の歌を好むことにも表れているようだ。中世においては人間の存在の無常が意識されたため、能のテーマも人間の死を扱ったものが多い。つまり殆どの筋書きが死ぬに死にきれない死を体験した亡霊が、通りかかった僧侶に念仏を唱えてもらい魂を鎮めるという話だ。人類の悲しみは不条理の世を生きていかなければならないところにある。「隅田川」においてなぜ罪もない子供が死ななければ ならないのか？現代においてもいまだに戦争があり、毎日人々が殺されている。こうした死を目撃した場合、人はどうしたら良いのだろうか？

西洋文学の例だが「赤頭巾」という童話がある。このはなしは赤頭巾を着た可愛い女の子が、森で狼に食べられてしまうという残酷な話だ。だがこの話は一体なにが言いたいのか？しかしよく考えてみると似た様な話はいつでもどこでも存在する。名前は忘れたが ある日本の文学者が「『赤頭巾』の話は文学のふるさとだ」と言ったのを憶えている。つまりまったく救われない原点から出発してそれからどう生きていくのかを追求するのが 文学なのである。

人間いつ死ぬかわからないから人生を楽しんで好きな事をする人や、一瞬一瞬を無駄にせず生きていこうとする人など色々いる。しかし、生きるともいう責任を負っている意味では人間だれも同じである。このことを意識すれば人々はおたがいに同情しあい慰め合うことかできる。
つまり人を愛するよろこびや人を許す寛大さは、不条理な人間の生き様を体験した後に得ることができる救いであろう。能における僧侶は迷える亡霊を念仏によって救いの世界に導こうとする。しかし祈ることをやめた現代人は、赤頭巾のような不条理な世界を見て、自ら救いの世界に到達しなければならないのだ。

紅葉会の歩み

ダフィー栄子

１９９６年に、現在のニ水会に該当する（当時会名はなし）在英日本人の夜の集会が開かれました。

当日の会費は２０ポンドで、今はなくなりましたが昔のヤオハンのお寿司と飲み物が出ました。
ほとんどが女性で、夜間の集会は好まない方々が大半でした。一回限しか参加されませんでしたが、１年後に、もも子ウイリアムズさんとえつ子クレリンさんが、昼間の集会の設立を提唱され、参加者約２０人のもと、１９９７年１２月にそれが決定されました。正式に１９９８年１月よりスタート致しました。
当時の例会参加者は２５人から３０人ぐらいで、今と比べれば少人数の集まりでした。そこで会の名称を募りましたところ、色々有りましたが、オックスフォード在住のあけみ太田さんの提案で、歳を重ねても“紅葉のように美しく”との意味をこめて「紅葉会」（こうようかい）と命名されました。

将来日本人会の独自の会場を持ちましょうと資金作りに励みました。毎年前田学園の夏祭りに参加して、会員の手作りのおにぎり、やきとり、大福、麦茶，しその苗木等を屋台で販売して、利益は小額ですが貯金して、将来を楽しみに自前弁当で頑張りました。そしてその少額が、紅葉会独自の銀行口座バークレーに預金されていました。しかし或る日、会長の平久保正男（故人）さんが、「英国日本人会として銀行口座は一つにまとめた方が良い」と言い出されたので、我々紅葉会の女性たちが猛反対したのが、今では懐かしく思いだされます。また、「よろずコーナー」と呼ばれるニューズ・レターを発行して、会員間の“売ります・買います”の便宜を計り、その他種々のお知らせ記事も載せました。時には、和菓子の好きな会員には、特別価格で仕入れたそれらを販売して、喜んでもらったりもしました。

毎月の例会に出席者を増員するのに、関係者はいろいろと悩みました。そこで例会時にイベントをすればと提案があり、お琴の演奏、尺八の吹奏、グーリン・コーラスの合唱などを企画しました。また、会員の中村ひろ子さんの料理教室、ご本人が自宅で作られたのを持参して下さり、料理法の説明が終わると、全員に試食をさせて下さり、皆さん大喜びで再度リクエストの希望の声もありました。キューガーデン内に日本の古民家が取り寄せられ再建されました。そこを利用させてもらい日本文化紹介として、華道、茶道の先生、高橋すみえさんにお茶会をして頂きました。キューガーデンに交渉して時間を限りＪＲＡ（現在のＪＡ）の会員は入園料を無料にして頂きました。通常訪れる事も無い方々もこの機会を利用して来られました。園内は広いので良い運動になったとの事です。

なにしろ費用を掛けないでイベントのタレントさんを探すのはなかなか大変でした。参加者はただ座って報告を聞くだけでは退屈とのことで、お互いにお喋りを始めると、「静粛に！」と止められるのですが、本音としては久し振りに日本語で存分にお喋りしたいものですよね。気持ちはよく解りますが、それではまとまりませんので担当者は色々と気を使いました。毎年春はバラ園に見物、夏はピクニックでバス旅行となかなか楽しい日も有りました。しかし、残念ながら其の当時の会員もかなりの人たちが遠く天国に旅立ち、残された我々は淋しい思いをしています。

初期１０年は色々と困難がありましたが、少人数で良く頑張り通したと今でも思っています。現在は会員も増員し、多くの皆さんがボランテアーとして貢献してくださり、感謝しております。
どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

『ポケットドリーム』

渡邊伸悟

◆2016 年、ある夏の日。

ウォータールー駅を出るとすぐに、人混みをすり抜けてテムズ川沿いの小路へ急ぐ。夕方 18 時、仕事終わりの人々が一斉に家路をたどる、そんな時間。来ないと思っていた夏が俄かに晴れ間をもたらし、珍しくロンドンは暑い。ビールを片手に陽気に笑うスーツの群れ。これでもかと肌を露出し公園に寝そべる若いカップル。大きなシャボン玉を作って飛ばすおじさんと、それを掴もうと手を伸ばす子どもたち……。ウォータールーからテートモダンへ。そしてさらにロンドンブリッジへ。いつ終わるとも知れない陽ざしを逃すまいと、テムズ川を行く人々はそれぞれに暑さを楽しんでいる。しかし僕は、そのどれもを見ていない。足早に人々の間をすり抜け、携帯のバイブレーションに立ち止まっては画面を見つめる。次は誰だ？ここにいるのか？どこにいる？夏の日差しが行く前に、人々はその残滓にそれぞれの想いを馳せている。しかし僕は、そのどれもを見ていない。僕が見ているのは、ポケモン。現実世界に突如現れた空想の産物達。

2016 年夏。これまでに類をみない勢いで世界に広まった携帯ゲーム『ポケモン GO』。僕は伝説のポケモンマスターを目指して、テムズ川沿いをひた歩いている。

◆再燃。

『たとえ火の中水の中草の中森の中、土の中雲の中あの子のスカートの中……』。これは僕の情熱的な初恋の話、では断じてなく(特に最後)、現在世界中で流行っていると言われているポケモン GO の原作、ゲームボーイ版ポケットモンスターの初代アニメ主題歌（1997 年)の歌いだしだ。当時の僕（13 歳）はすでにゲームボーイはやっていなかったが、特に小学生の間で大変なブームになっていたことは今でも覚えている。

そして 2016 年。20 年以上前に発売されたゲームが、拡張現実（AR = Augmented Reality）という最新の技術と融合して現実に甦り、多くの人を魅了しているという。発表から 2 か月以内に 5 億ダウンロード、課金収入は一日 10 億円超とも言われている。懐かしさも手伝って、僕は英国でのアプリケーションリリース後すぐにダウンロードした。

身も蓋もない言い方をすれば、ポケモン GO は携帯電話の画面に現れたポケモンに手持ちのボールを(画面上で）投げて捕獲するだけのゲームである。プレイヤーは街を歩き、ポケストップと呼ばれるポイントでボールや回復薬などのアイテムを集めながら、ランダムに出現するポケモンを捕まえる。そして捕まえたポケモンを育ててジムで戦わせる。最終的な目標は全種類のポケモンを集めポケンマスターになることだ。

街を歩くと他のプレイヤーに出会うことも少なくない。ダブルデッカーに乗れば数名はアプリを開いているし、携帯の画面を見つめながら人差し指でスワイプ(画面をなぞる行為)をしている歩行者がいたらほぼポケモン GO をしている。ハイドパークやリージェンツパークでは子どもに付合わされて歩いている親たちと世間話をし、僕は子どもに大人ならではの戦略的な（姑息な？）作戦を教えて尊敬の眼差しを集めている。ある日 70 代の英国人女性がバスでやっているのを見かけて少し教えたこともあるが、「孫に負けないわ」と孫との話題作りのはずがいつの間にか本気になっていた。最近ではポケモン GO をしている人を見つけては実際にボールをぶつけてくる輩もロンドンでは出没しているらしい。僕の周りでさえある程度ポケモン GO の影響を感じるくらいだから、当然世界ではもっと色々なことが起きている。ポケモン GO 操作中に交通事故に遭った。仕事を辞めた。立入禁止の場所に入る輩が後を絶たない。中国では、中国の伝説の怪獣を使ったポケモン GO のコピーアプリがすぐ発売された。一方で、引きこもりの若者がポケモン欲しさに引きこもりを辞めた。営業パーソンが外回りに積極的なった。子どもが外で遊ぶようになった。ウォーキングによって健康になった……。いずれにしろ、これほどまでに開発者に予期せぬ形で広まったアプリは類を見ないだろう。

◆ポケットに夢を

コレクション欲、トレンド欲、ノスタルジー、キャラクター性、拡張現実という最新技術……。ポケモン GO がその単純なゲーム操作にも関わらず一瞬で世界中に広まった理由を挙げれば枚挙に暇がない。それでも、敢えて理由を絞るのであれば「未知との遭遇」と「現実の再発見」なのではないかと僕は思

う。あの子のスカートの中は論外だとしても、草の中森の中くらいまでならいけるだろう。冒頭で、僕は何も見ていないと書いたが本当は少し違う。アプリの画面を通じて僕はそういう人々をも見ている。いつもなら素通りする単調な景色のどこかに出現するポケモンを探しながら。毎日繰り返される単調な現実が「ワクワク」感と共に再定義される。現実に新たな意味が付加される。ポケモン GO は毎日に小さな夢を与えてくれる。ポケットに夢を。だから今日も僕は歩く。さぁ、今日は何に出会えるだろうか？

ふたたびの炉ばた焼き
旨い魚の話

ビドル　恵

母の営んだ“炉ばたのあかり”は足寄町立病院の真向かいで、駅前や三笠通りといった飲食店街から三丁程離れていた。

元はラーメン屋だったらしく、表に調理場の付いた土間が在って、炉ばた焼きの店への改装もいたってスムーズに済んだから、父が構想を練り始めてから、実現に至る迄の早かったこと。引っ越しに改装、開店準備とかなりの慌しさだった事を記憶している。

店は八帖大の土間で、その真ん中に三尺四方、高さ二尺半の大きな囲炉裏を置き、それを囲む様にコの字にカウンターが付けられる。

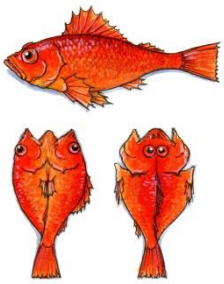
椅子は白樺の丸太で、切り口に紺絣の座布団を載せたもの、座れますのは１２人きっかりという狭さであった。

カウンターの正面に調理場と仕切られた暖簾が下がり、囲リには煤けた色合いの網や浮き、魚籠にカンジキ等が飾られる。頭上の照明は火屋付きのランプ型で、炭火の色が映える様にほの暗い。そして座席の後方三辺のぐるりの壁は、腰板から天井迄届く白樺林の写真が壁紙で、店の中はまるで浜辺の番屋か北海道開拓団の山小屋の雰囲気であった。

母はその山小屋の主、紺絣の上っ張りを着て炉の一端、カウンターの中央に座して客の注文を聞く。

炉の上には金網が被せられ、その真上に大きな換気扇と魚を干す吊具があり、魚を焼いて出る煙は、表の路上に排気されて客を呼ぶ仕組みだ。旬の魚を焼き、取手の付いた鳥型の土瓶（二合入り）に酒を入れ、炉の遠火でじっくりと焼燗にして出すという、魚好きの飲み助には、こたえられない程心地の良いセッテングであった。

焼けます魚は季節で替わるが、主に鮭（ホッケ）、鰊（ニシン）、鯖（サバ）、鰈（カレイ）、メンメ（キンキ）、烏賊（イカ）、ツブ貝といった北の海で獲れるもの。野菜は茄子、椎茸、ピーマン、シシトウ、トウモロコシ等で、その日に焼けます物をバットに並べて炉とカウンターの間の棚に置き、客はそれを指さして注文する。



図：めぐみ　　メンメ

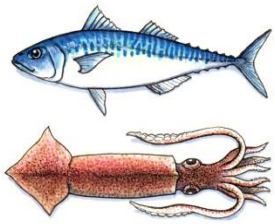
まだ中学生だった私は学校から帰ると、まず魚や野菜を仕入れに市場へ走る。酒やビール等の飲み物や米の類は業者に配達して貰うが、魚は人まかせにできず、その時期の旬や新鮮な物を自分の目で確かめてから購入する。

大抵の魚はそのまま持ち帰って自分で捌くが、骨の硬いメンメ（キンキ）だけは、背ビレの棘などで指を突いたりすると、膿んでかなり後まで傷むから私の手の負えず、魚屋で開いて貰う。ところが、うっかりして居ると背開きで無く、腹開きになって渡される事が有った。これは普通の手順だと、腹側に切り目を入れて内臓を除きそのまま開く為で、家庭で食べる場合はそれで良いのだけれど、店でお客様に出す時、腹開きは“武士の腹切り”と呼ばれて嫌われる。その上、背開きと腹開きでは魚の顔付きまで変わってしまうから、人気が落ち売れ残ってしまうのだ。

「頭ごと背割りに開いてから内臓を取って下さい。」と、はっきり注文し且つ中学生の小娘とあなどられぬ様、しっかりと魚屋の手元を監視していなくてはならなかった。そして勿論店で出す魚は全て、お頭付きが基本である。メンメは頑健な頭に大きな目、えら蓋や背ビレ等硬くて刺々しい勇敢な姿をしているが、体表が鯛よりも赤くその白身には脂がよく乗っており、庶民にはご馳走魚。店のメニューでも人気の高い魚だった。

店に持ち帰った魚を、バットにそのまま並べる干し物と、下ごしらえの必要な物とに仕分けし、すぐ作業に取り掛かる。

まずは鯖、小振りのものをやはり背開きにして内臓とえらを除き、軽く塩を振って干す。鯖は秋刀魚（サンマ）と同様、焼いた物は大根おろしを添えて勧めた。旬に入って大振りになって来ると、焼くより味噌煮の方が好まれて、調理場は忙しくなったものだ。



図：めぐみ　**サバ・イカ**

捌くのが好きだったのはイカで、表皮の色が濃く斑点のはっきりした新鮮な物を選ぶ。冷たい流水で洗いながら、身から足と内臓をはずし、皮を剥いで開き串に刺してさっと干す。これは一番人気のイカ焼き用で、炭火の金網の上で焼き上がった順に短冊に切り、おろした生姜を添えて出す。

客が話に夢中で、せっかくの熱々が冷めてしまうのを防ぐ為に、時折母は酒を勧めつつ「ほれっ冷めない内に食べて、熱い内の方が柔らかくてうまいよ。」などと言っているのを、私は調理場か、お役のない時は隣りの茶の間で、ちゃぶ台の上に受験勉強ノート等広げながら、快く聞いていたものだった。

イカの足は塩振りのゲソ焼き用で、内臓は塩漬けのゴロとなり、捨てるところが無い。

カツオの内臓は〝酒盗”で鮎のは“うるか”と共に酒客に珍重されているが、ゴロは何階級か下げて見られ、一般には市販もされていない。だが新鮮なスルメイカの茶色い肝を、上手に塩漬けにすると茶褐色のツヤが出て来る。その薄皮を箸で突き破ってひと舐めすれば、潮の香強くまったりとした脂肪の味がして、立派な酒の肴になる。熱々の白いご飯にまぶしても旨いが、このゴロをイカ刺しに混ぜ、隠し味に七味とユズを少々加えて即席の塩からにし、大根おろしを添えると最高の突き出しになった。

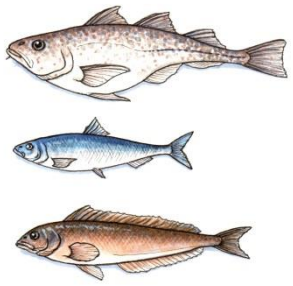
次に下ごしらえするのはツブ貝（ヒメエゾボラ）、サザエよりは小粒で庶民向けだが、壺焼きにして当時でも一粒５００円という高いお代をいただいて居たので、なるべく粒の大きい元気な物を仕入れて、まずサッとひと茹でする。串を使い殻を回しながら、奥の渦巻き状のデンデンム虫の様な部分も残さぬよう、身をそっと取り出す。このデンデン虫の所は苦みが強い上に、寄生虫が入っていたりし、好き嫌いが有るのできれいに除き、歯ごたえの良い白身だけを使う。身の中程に埋まった生殖管の両脇に在る脂肪の固まりも取り除く。

この部分は季節に依っては食あたりを起こす事が有るので、手抜きのできない作業だ。その身をよく洗ってから縦半分に切り、さらに六ッに切って殻へ戻しバットに並べる。

注文が入ると殻ごと金網に載せ、少量の酒と醤油、おろした生姜を加えて焼き、フツフツと沸騰して、良い香りがして来たら食べ頃である。ツブの旨さは紅灯の巷、泥酔の彼方で覚える味だと言われるが、仕込みの段階の茹でただけの身でも、噛むと磯の香と仄かな甘みのある旨味が溢れ出て、口中にいつまでも残り、酒の飲め無い私でも美味しいと思ったものだ。

夕方六時の開店と共に、客が徐々に入り始め、酒を注文して魚を選ぶ段になると、メンメやイカに人気が集まるが、常連ともなれば他の魚も試してみたくなる。そんな時は母が魚の名とそれに纏わる話などをし、小さな炉ばた焼きならではの、心暖まる風情が一層と深まってゆく。

その中からいくつか例をあげてみると、まず鰊（ニシン）は鱈（タラ）と並んで北海道の代表魚、卵（数の子）を抱いていない雄魚が生で市場に出る。脂が乗って柔らかく旨い魚だが、小骨が多くて酔った客には食べにくいから、まだ身が白い生干しの身欠き（数の子を取った雌魚で作る）を勧める。コブ巻きの芯や煮付け用いる、カンカンに干した黒い身欠きは、サッと焙って毟り、ビール客のつまみ用になった。

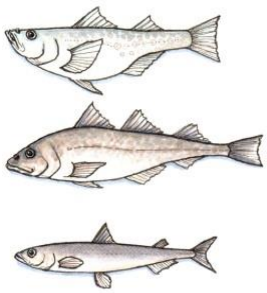


図：めぐみ　**タラ・ニシン・ホッケ**

鮥（ホッケ）は俗に安手で美味しく無い魚。一時期は囚人用とまで言われて軽視されたそうだが、ひどい汚名である。鮥は鰊の卵を食べるという理由で、撲滅論まで出た事が有るとか、北海度だけで獲れ

るこの魚をもう少し見直してやるべきだと思う。生の物は煮付けにして旨く、開いて燻製干しされた物は焼いて食べると味も一段と良い。大振りの物なら一枚で四人家族食べられるし、頭や中骨、ヒレ等柔らかいので、更にじっくり焙ればサクサクになって子供のおやつ用と、残すところが無い大衆魚である。店で出す開きは小振りの物だが、それでも一人前としては多いぐらい、鮭はカップルで仲良く一つの皿を突きたい客にお勧めであった。

鰰（ハタハタ）は秋田が本場で“いずし”にして食べるのが有名だが、漁獲量は北海道の厚田村（石狩湾北部）も負けぬ程ある。鰰は体長１０～１５㎝程と小振りで、白地にグレーの斑点模様の綺麗な魚である。冬の魚で、日本海が冬になって荒れ粉雪の舞い出す頃に、産卵の為に群れて岸辺の海藻に寄って来る。これを捕獲して２～３日寒干しにしたものを焼いて食べるが、地元の人はさらに越冬用としてヌカ漬けにし、焼くか鍋（塩汁）にして食べる。鰰には漁民達の神話や、網起こし舟が転覆する話等いろいろな哀話が有って、淡泊な味の向こうに、吹雪の海の音が聞こえるような、ちょっと悲しい魚である。



図：めぐみ**ハタハタ・コマイ・シシャモ**

悲しい魚と言えば、氷下魚（コマイ）を忘れてはならない。文字通り厳寒の最中に流氷を割って獲る、道東及び極北の魚で、カラフトでの呼び名、寒海（カンカイ）とぴったりの漢字が当てはまった別名でも知られる。この魚の漁は磯舟一隻しか持てない、貧しい沿岸小漁民の悲しい生業であった。大きな船が持てぬから、オホーツク海の鱈漁に出られず、冬の流氷と共に、ヒタヒタと押し寄せて来る氷下魚の群れだけが、冬場を凌ぐ糧になるわけだ。店では生干しにした物を焼いて出したが、生は少し凍らせて笹がけにした刺身（ルイベ）か、三枚におろして天ぷらにしても淡泊な味で美味しい。寒晒しにしてカンカンに干した物は、ビールのつまみに（お茶うけに）最高だった。土間に敷いた新聞紙の上で、カナヅチを使って軽く叩きほぐし、皮を剥いでから食べ易い大きさに手で割く。これに焼きスルメと同様、マヨネーズに七味を振ったものを添えて食べる。口にほうり込んで噛みしめると、マヨネーズの味が口中から消える頃、生の時には感じられない、天日の滋味と言うか氷下魚独特の旨みが徐々にしてきて、この味は覚えると止め難く、私はこの魚に愛着がある。

そして腹に卵を抱いた柳葉魚（シシャモ）。この魚は純粋の道産子で、アイヌの神様の息吹きが通っている。柳葉魚はアイヌ語の“シュシュハム”からきており、シュシュが柳、ハムが葉の意味である。昔むかし、人々が飢えに苦しんでいた時、神様（カムイ）が柳の葉を手に取り、川に流して魚に変身させたという神話の通り、体調１２～１４㎝の銀色に光るすらりとした体形をしている。これを天日で生干しにすると、サッと焙っただけでも頭ごと食べられる程柔らかく、香ばしくて旨い。

昔は産卵の為に、この柳葉魚の大群が日高山系に及ぶ河川を登り、川の流れが逆流しているかの様に見えたとか。現在は全国的にポピュラーになり過ぎ、乱獲と大手商社による買い占め等で捕獲量が激減し、外国産の物が出回っている上に、全て機械干し、味も風味も格段に落ちる。

以上、思いつくままに書いたが、どの魚も北の海で獲れる道産子自慢の物ばかり、この炉ばた焼きの店を手伝った頃と、その後訳あって父の実家である浜益村（厚田村のさらに北）に移り住んだ何年かの間に、馴れ親しんだ魚達である。浜益村ではこの他に、数々の鰈（カレイ）やイガイ（ムール貝）の漁も盛んで、バフンウニに纏わる哀しい思い出話等、書きたい事はまだまだ有るけれど、又別の機会にでもと願いつつ、今回はこのへんで終いとする。

犬の十戒

タミーガフニー

（いぬのじっかい*The Ten Commandments of Dog Ownership*）
ウィキペディアから見つけたサイトのご紹介です。

＊作者不詳のまま広く世界に伝わっている英文の詩で、日本では「犬の十戒」として知られているが、実際には原典があり、ノルウェーのMrit Teigenというブリーダーが犬の買い手に渡している、「犬からご主人への11のお願い」が原文で、 ペットとして飼われる事となった犬と人間との望ましい関係を、犬が人間に語りかけるという形式で訴える内容である。

「私の一生はだいたい10年から15年。あなたと離れるのが一番つらいことです。どうか、私と暮らす前にそのことを覚えておいて欲しい」から始まり、

1 あなたが私に何を求めているのか、私がそれを理解するまで待って欲しい。
2 私を信頼して欲しい、それが私の幸せなのだから。
3 私を長い間叱ったり、罰として閉じ込めたりしないで欲しい。
4 あなたには他にやる事があって、楽しみがあって、友達もいるかもしれない。でも、私にはあなたしかいないから。
5 話しかけて欲しい。言葉は分からなくても、あなたの声は届いているから。
6 あなたがどんな風に私に接したか、私はそれを全て覚えていることを知って欲しい。
7 私を殴ったり、いじめたりする前に覚えておいて欲しい。私は鋭い歯であなたを傷つけることができるにもかかわらず、あなたを傷つけないと決めていることを。
8 私が言うことを聞かないだとか、頑固だとか、怠けているからといって叱る前に、私が何かで苦しんでいないか考えて欲しい。もしかしたら、食事に問題があるかもしれないし、長い間日に照らされているかもしれない。それか、もう体が老いて、弱ってきているのかもしれないと。
9 私が年を取っても、私の世話をして欲しい。あなたもまた同じように年を取るのだから。
10 最後のその時まで一緒にいて欲しい。 そして、
「もう見てはいられない」、「私はここにいたくない」などと言わないで欲しい。あなたが隣にいてくれることが私を幸せにするのだから。忘れないで下さい、私はあなたを愛しています。

私自身の体験で、小学校入る前から、捨て犬や猫を拾ってきては家に連れて帰り飼っていたので、雌猫や雌犬たちが同じ時期に出産するのも目撃していた。これは子供心に小さな命の誕生を目の当たりにし、手のひらに乗るほどの小さな生命の温もりを体験している。大抵４－５匹生まれた子猫、子犬のなかには早産、死産で生まれたり、小さな命の死をも見ていた。いつも悲しくて泣いていた。
ペットは人間より早く死ぬので、“幼い子供にとっては死をまじかに体験することで、命の大切さを感性でもって体験し子供の情操教育にも良い”と、児童心理専門家も説いているのを読んでから、自分の子供時代の体験を通じて同感できます。子供の時から、子猫、子犬たちが死んだら、必ず庭にお墓を作って、自分の好きなおやつをお供えして悲しんだ記憶も鮮明に浮かんでくる。
２１世紀の日本も動物の葬儀屋さんまであり、墓石まである時代になった。YouTubeのサイトで動物愛護者が、プラスティックの袋に入れてゴミ箱に捨てられた子猫たちを救ったり、引越しする時に飼い犬を置き捨てられた犬などの画像を観るにつけ、その飼い主たちの非人道的行いをうたがわざるを得ない。憤りすら感じる！！　ペットは家族の一員として飼えないなら持つべきではないと自分は思う。

ちなみに追加情報として、2008年3月に映画化もされた、川口晴の著書『犬と私の10の約束』（文藝春秋、2007年7月）もまたこの詩を題材とした作品である。なお、『文藝春秋』2007年12月号では「犬と私たちの10の約束」と題した特集が組まれ、田辺聖子、小池百合子、野村克也ら著名人10名がそれぞれの愛犬と交わした“約束”を紹介している。 これは『十戒』と異なり、10組の犬と人間が交わしたそれぞれの約束の紹介である。

終わりよければすべてよし

ー　リオオリンピックボランティア体験記　ー

西川千春

長かったようであっという間に過ぎ去った 3 週間。リオでの五輪ボランティア活動を終えて、ロンドンの我が家に戻ってすでに 1 か月が過ぎた。出会った仲間たち、リオの街並みとどこからとなく流れてくるサンバのリズム。様々な出来事や思いが頭をめぐり、なかなか現実世界に戻ることができない。これが一度足を踏み入れたら後戻りできない五輪の不思議な魔力だ。この五輪中毒といってもいい症状に取りつかれてすでに 4 年。すべては自分が住む街、ロンドンで 2012 年に開催された五輪ボランティアに参加し、人生最高の 2 週間を過ごしたことから始まる。ロンドン大会後の虚脱感から抜け出るために、ソチ大会のボランティアに参加。そして今回のリオにも全く躊躇（ちゅうちょ）することなく手を挙げてしまった。

オンラインで申し込みをしたのは開催の 2 年前だった。どの大会でもスケジュールはほぼ同じ。そしていつも同じシステムなので、記入事項も大体同じである。ボランティアの職種は会場サービス、競技、技術、メディアサポート、運送、医療、要人のアテンド・サポートなど大きな区別があり、細かく分けると 800 以上にもなる。応募時に 3 つの希望職種を選択できる。今回もロンドン、ソチと同じく通訳を希望して、無事合格通知をもらったのが本番の 1 年前ぐらいだ。ボランティアの応募者は 24 万人でそのうち 5 万人が採用となった。ちなみに通訳チームは試合後の選手インタビューをオリンピック放送サービス、ニュースサービス、放送局、新聞・通信社のリポーターや記者に通訳するのが主な仕事だ。今回は 1000 名程度が通訳チームに採用された。ロンドンの 700 名よりも増員されている。ちなみにプロの通訳も 70 人程度参加していて、公式メダル記者会見の同時・逐語通訳を担当する。

リオ大会開幕もあと 1 か月となった 7 月。新聞でもボランティアに関する記事がいくつか取り上げられた。その中で東京大会でのボランティア要件と東京外国語大学の学生がまとまってボランティアとしてリオ大会に参加するニュースに対して、ネットで炎上する騒ぎとなった。つまり「タダで働かせて、この待遇はありえない」「ブラックすぎる」「こんな条件付けて誰も応募するわけないじゃん」といった内容だ。非常に残念に感じたが、まだまだボランティアを単なる「安い労働力」としてしか見ていない人たちが多くいるというのが現実なのだろう。ボランティアは公共性のある大きなミッションに賛同して、「貴重な経験を積みたい」「人の役に立ちたい」といった自分の目標と合致した時に自発的に参加することだ。スポーツを「支える」楽しみもある。リオのボランティアには北京、ロンドン、ソチ大会を経験した外国人たちが 1 万人規模で参加していた。世界最大のスポーツイベントに当事者として参加することで選手と感動を分かち合い、どれだけやりがいを感じているのかがわかるだろう。遠いブラジルまでの渡航費や現地の滞在費を自己負担してまでも駆けつけるのだ。条件は初めから提示されているので、有償・無償であることは関係ない。それだけにモチベーションは高く、仕事として参加しているスタッフやコントラクターとは全く違ったオーラを発している。自然とあふれてくる笑顔が今や「大会の顔」といわれるゆえんだ。

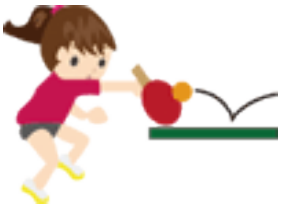
いよいよ開催が近づき、日焼け止め、虫よけスプレーやビーチサンダル、T シャツ、短パンをパッキングして準備完了。問題山積でマスコミが騒いていたが、大会への期待と興奮が完全に上回っていた。選手村も水漏れだの、トイレが詰まるなど話題十分だ。最後はどうにかなると思い、リオに向けて出発。乗り換えのサンパウロで入国審査が長蛇の列。国内便の手続きも同様だったので予定のリオ行きに乗れず。同じ境遇でサンパウロ空港内を一緒に全力疾走した五輪取材班の英国放送協会（BBC）の撮影クルーたちと一緒に航空会社の悪口を言いながら次の便を待つことになった。聞いてみるとロンドン大会の時も私が働いていた同じエクセル会場で撮影していたそうだ。ボランティアもプロも 2 年ごとに同じ顔触れがそろうのが、これまた五輪の不思議なところだ。

初めてのブラジル。冬だというのに夏のロンドンより暑いではないか。さすがに絵になる街だというのが第一印象。海と丘の何とも言えないコントラストを醸し出している。いろいろな問題を抜きにすれば、五輪の舞台としては完璧だと思った。翌日は通訳に関するトレーニングだった。楽しみながら、全員が参加できるようにうまく考えられたプログラムだ。面白いことに、この日のセッションでは講師の 2 人を除けば、参加者 40 人中ブラジル人は日系のマルシオさんただ一人。必然的にすべて英語だ。ちなみに通訳は 20 数カ国語を英語に訳すのが仕事。公式報道機関はどこで行われる大会であっても英語で運営されるからだ。実際通訳チームはほとんど外国人だったのも後から分かった。

リオオリンピック開会式の翌日、8 月 6 日は活動の初日だった。早速ワクワクしながらカラフルな黄色のユニフォームに腕を通す。ズボンは長さ調節が可能で、さらにはジッパーで短パンにも早変わり。短足の日本人オヤジにもとてもフレンドリーにできている。配属になったリオセントロ会場は期間中宿泊しているアパートから 40-50 分かかるといわれて、7 時半集合に余裕をもって 6 時 15 分に出発した。BRT と呼ばれる高速バスがメインの交通手段だ。路線図を見るとまっすぐなので楽勝と思ったが大間違い。分かり易い表示がないので、どちら方面に向かっているのか、今どのあたりなのかが全くわからない。それでもようやく目当てのリオセントロに到着。乗っていた周りのブラジル人たちが一斉に「ついたぞ、ここで降りろ」と本当に親切だ。全部ポルトガル語なんだが、こういうのは分かるものだ。あと 15 分ぐらいあるから大丈夫だろうと思ったのが甘かった。ボランティア用のチェックインはどこだ？ユニフォームをきた案内係のボランティアが何人かいたが、全く英語がダメ。困っていると一人が腕をつかんでテントの方に連れて行ってくれたがそこでもない。そこになんと英語がわかるボランティア登場、まさに地獄で出会った天使だ。セキュリティーチェックを通ってようやく担当マネジャーのフェリペ君の出迎えを受けた。この時すでに 20 分遅刻。ゼイゼイしている私を見て彼いわく、「なに焦ってるの。ほとんど時間通りじゃない。初めてにしては上出来だね。」と笑っている。初っ端からブラジル流の洗礼を受けることになった。集まった同僚に聞いたらみんな同じ苦労をしてたどり着いたようだ。

通常は展示会場として使われるリオセントロは地味の一言、「本当にオリンピック会場かよ」といいたくなる外観だ。もうちょっと派手に飾り付けでもすればいいのだが、多分経費削減なのだろう。実は当初の配属はゴルフ会場だった。結局注目の松山英樹選手の出場辞退もあって、ゴルフ会場は一日だけでお役御免。リオセントロに送り返された。通訳チームの同僚たちは世界各国からの参加でほとんどが外国人。特に必要な言語ということで、中国人が多く集められた。ソチ大会にも参加したロシア人もいる。日本人は東京外語の学生（20 人以上日本から来た）、ロンドンの友人、ブラジル在住、アメリカから駆けつけた人、日系人も含めて 10 人ちょっとだ。全部で 150 人が仲間になった。初日はボクシング、成松大介選手のインタビューで開始。国際オリンピック委員会（IOC）のホスト放送機関であるオリンピック放送機構（OBS）が担当する。通訳チームは試合をしているすぐ横の「ミックスゾーン」という場所で、報道関係者と一緒に試合を見ながら選手を待ち構える。成松選手は多弁で、試合後とは思えない饒舌さだ。翌日は重量挙げの八木かなえ選手、卓球の丹羽孝希選手と続いた。私は五輪ボランティア経験者ということもあって、チームリーダーとして担当者の選択、指示、注意点の確認、OBS や他部署との調整も含めての対応だ。また緊張する若い子たちを励まして、送り出すのも重要な役目。通訳は経験がものをいうので、初めてやる人はなかなか大変。特にテレビの場合はカメラが回り、照明が当たり、前には有名選手、周りは報道のプロというすごいプ

レッシャー状態だ。ここで働く OBS や組織委員会の有給スタッフは普段いろいろな報道機関やイベントで仕事をしていて、2 年に一度のオリパラごとに世界中から集まってくる、百戦錬磨の多国籍プロ軍団だ。皆腕一本で稼ぐフリーランスがほとんど。必然的に英語が標準語で、このサポートをするボランティアは英語ができないと話にならない。実は取材のジャーナリストは 3 万人近くにもなるので(ちなみに選手は 1 万人)、英語が得意なボランティアはメディアサポートに多く配置されるのだ。プロが取り仕切っているこの部門の運営は、さすがにスムーズだ。今回は卓球日本が大活躍だった。女子団体の銅メダルも立派だったが、水谷準選手が男子初めての個人銅。団体は偉大な世界王者、中国に勇敢に立ち向かい立派な銀。女子の活躍に隠れがちだった水谷選手もドヤ顔、嬉しさ爆発のインタビューだった。また今回はプロ通訳部長から直々に頼まれて、ひな壇に上がって女子チームのメダル記者会見まで担当することになった。通常はプロの通訳が担当するのだが、都合がつかずに駆り出された次第だ。終わるなり隣に座っていた「愛ちゃん」こと福原愛選手がさっと手を伸ばしてきて、「本当に、ありがとうございました」と握手してくれたのだ。元卓球部だった私にとって、このまま人生終わってもいいと思えた瞬間だった。



一方で残念なニュースも伝わってきた。報道されたように多くのボランティアが脱落してしまったことだ。外人部隊の通訳チームはそれほどではなかったが、会場サービスやゴルフ会場のマーシャルをやった同僚たちに聞いてみると、初日から出てこなかったボランティアがかなりいたらしい（予定の半分しか来ないところもあった）。さらに日を追うごとに脱落者が出る状態だったようだ。残念なことに資金難を理由に当初 7 万人のボランティアが 5 万人に削減されたのは大きな痛手だったようだ。ただ仕事が大変になろうとも士気が高ければどうにか頑張れるのだ。ブラジル人のパッションはものすごい。ブラジル愛も想像がつかないほど激しい。ところが一方で権力や体制といったものに対する信頼は非常に低く、常に支配する者に対して懐疑的、反抗的なのだ。したがって運営上の問題が起きて、特にボランティアへの負担として跳ね返ってくると、途端に士気が低下してしまう。運営に慣れていないので、現場のマネジャーは目の前の問題で頭がいっぱい。ボランティアのフォローができなくなる場面には何度も出くわした。今回勤務中の食事はかなり満足だったが（結構士気を維持するための重要ポイント）、忙しくて取れなかったり、場所によってはビスケットぐらいしか出なかったらしい。

「Gambiarra＝ガンビアーラ」リオ大会はまさにこの一言に尽きるだろう。ポルトガル語で（困難な中でも）何とか最後はどうにかする、という意味だそうだ。ブラジル人曰く、計画を立てて始めるのは不得意だけど、どうにかしてうまく終わらせるのは天才。一つの美学かもしれない。経済の破たん、政治の迷走、治安の懸念、ジカ熱、設備施設の建設遅れなど、これほど問題を抱えて始まった大会もなかった。それでも大きな問題も起こらず、どうにかして無事にオリパラを終わらせたリオにまず拍手を贈りたい。プールが緑になったって、施設が仮設モード満点だって許せる。本当に楽しかった。「アイルトン・セナ知ってるでしょ？」満員のバスで前に立っていたお兄さん（というよりオジサン）がユニフォーム姿の私を見てニコニコと話しかけてきた。よく見ると自動車 F1 レーサー、セナの T シャツを着ている。熱烈なファンだったのだろう。当然すべてポルトガル語だ。こちらも「ホンダ、鈴鹿」とか「日本人はセナが大好き」と負けずに日本語と英語で返す。「今は亡きセナはブラジルの英雄で、日本との絆はすごく強いんだ。彼は日本が大好きだった」と、なんと 1 分でお互い完璧に理解し合ってしまった。今まで世界のいろいろな国に行ったが、ブラジル人ほど心優しく、親切でフレンドリーな人たちを見たことはない。そして言葉が分からなくても相手に気持ちを伝えようとする努力。ブラジル人は言う。「ブラジルやリオは完璧じゃない、問題ばかりだ。それでもブラジルを愛すること、どんな人でも受け入れるウェルカムの心と行動だけは誰にも負けないんだ」。そんなブラジル人が本当に好きになった 3 週間。日本が学ぶことはたくさんある。そして限りなく美しく、すばらしい大会に参加できたことを本当に誇りに思う。リオへの想い、サウダージはいつまでも私の心に残るだろう。ブラジルそしてそこに住むカリオカたち、本当にありがとう。次は僕たちの番だ、東京で会おう！Obirigado Rio de Janeiro, Obrigado Carioca!

『英国春秋』 2016年秋号 （ No.29 ）

編集人　小川のり子
発行人　佐野圭作
発行所　英国日本人会
事務局　c/o JEIB
3 London Wall Buildings
London EC2M 5PD

原稿の送り先　ogawa@japanassociation.org.uk 又は
Mrs M Hodgson 492 Canterbury Way, Herts.SG1 4ED